京城日報

十五日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

日支軍事協商
近く調印を見るべし

豫て交涉中なりし日支軍事協商は今回愈々協議整ひ日本政府の承諾を得る爲め書類を東京に送附し來れり右協商は支側にては靳雲鵬氏委員長となり我政府側は宇垣、齋藤兩少將代表となり交涉を進め來りたるものにして四月廿五日大體を起草し爾來細目を協議しつゝありしが既に協約案文の送附ありたる上は近く調印の運に至る可しと(東京特電)

留學生問題と當局

支那當局は語りて曰く、東京に於ける支那留學生が事實の眞相を識らずして悲憤慷慨しつゝあるは其愛國の情は嘉すべきも畢竟這は彼等の爲めに執らざる處なり右は既に教育部より駐日公使に彼等の性質を說明し同時に訓示を發したるが尙今後持重して事實の判明する迄何等の行動を執らしむる事勿からん事を希望す決して彼等を失望せしむるものに非ずと(北京特電)

北京新聞代表會合

北京に於る二三新聞の代表者は十二日會合し某問題に就き反對の協議を爲したるが官憲の干涉あり決議に至らずして散會せり(北京特電)

山東省借款不關焉

山東省と英米トラストとの借款に關し財政部、農商工部は少しも聞知し居らず從つて承認を與へし事無しと言明せり(北京特電)

山東省借款と日本
事實とせば我は默する能はず

山東財政廳と英米煙草トラストとの間に成立せりと傳へらるゝ三百萬圓借款說は眞否未だ判明せざるも事實なりとせば日本は當然右問題に就て爭ふの權利あり膠州灣條約には山東に於て技師資金材料等入用の場合は獨逸より仰ぐとあり日本は其權利を繼承しつゝあれば運河借款同樣是れを容認し難きものなりと(東京特電)

洪牙利內閣組織

ウエッケルレ伯は洪牙利內閣を組織せり(倫敦電報)

モ少將豫備役編入

軍事會議にてモーリス少將を豫備役に編入し恩給を支給するに決定せり(倫敦電報)

米輸出品管理制度

米國戰時通商局は聯合國側へ輸出の目的を有する商品製造を管理する新制度を設けたり(紐育電報)

臨時國勢調査局員任命

臨時國勢調査局は十四日左の如く任命ありたり、長官は官側より兒玉內閣書記官長を以て之に充つる事となり居れるを以て特に任命無かりき(東京特電)

內閣統計局長 牛塚虎太郎
兼任臨時國勢調査局次長
鷲尾弘準
任臨時國勢調査局事務官
內閣統計官 二階堂保則
同 後藤市藏
任臨時國勢調査局統計官
陸軍教授 横山雅男
兼任臨時國勢調査局統計官

中村都督通過

中村關東都督は十五日朝釜山發壹岐丸にて內地に向へり(釜山特電)

總督穩城出發

長谷川總督一行は十五日朝穩城出發慶源に向ひたり

石炭需給(上)
根本的解決の必要

寒期に其の缺乏と激騰を示し一般市民の困難を來せし石炭問題に關しては曩に京城商業會議所の提唱せる炭價調節に依り滿鐵撫順との間に漸く折合を告げ其の一部分は幸うじて解決せらるゝに至りたるが其後

▼撫順炭の 對價先月十四日より京城龍山にて一圓、平壤地方にて二圓の値下となり今回又朝鮮に對する約十萬噸の增配炭が撫順より安東縣を經て本月の下旬から輸送を開始せらるゝ事になつた斯くして今年の冬は今より準備さるゝ貯炭に依つて甚だしき缺乏を告ぐる事なく値段も塊炭二十一圓切込炭十九圓粉炭十八圓といふ現在の値で需要さるゝ併し僅かに一部の燃料需給手段の緩和を得たりとて毎年遭遇すべき採暖方法に就いて根本の一工夫なくば再び三度昨年の如き不便を來すのみならず朝鮮に於ける石炭消費量が驚くべき速度を以つて激增しつゝある事は

▲由々敷問題 である本問題に關して京城會議所の調査に據る大村書記長の意見を聞くに一時大正五年の石炭量は五十萬九千二百七十一噸なりしに大正六年は七十萬二千五百五十噸で約二十萬噸の增加を示してゐる此の比例で推すと本年は八十五萬噸位を要するものと思はねばなるまい然るに朝鮮の產炭量は一昨年が二十二萬九千噸、昨年が二十萬五千三百六十九噸、其の中の十二萬噸前後即ち平壤炭田產出の約八割は海軍用として德山へ送らるゝため正味朝鮮の自掘自給額は十萬噸を出でず殘額七十五萬噸は他から供給を受けねばならぬ多くの

▼一般消費者 が突き當る所迄はどうかならうと念頭にかけられぬのは當り前の事であるが問題として其根本解決を圖らねば何時迄も寒心すべき憂患が伏在して居ると言はねばならぬ、勿論石炭の騰貴は大勢であつて昨年の九月に一躍四圓高となり十一月更に二圓騰貴し終に一昨年の冬期に比し正に倍高の相場を現はした朝鮮に於ける撫順炭の供給といふものは南滿鐵道の營業本位から見ればもつと高くとも飛ぶ程賣れ行きのある石炭をあの値段で朝鮮へ送らるゝことは寧ろ好意であるといへたであらうが生活の實情は文明の程度に隨ひ各國自から其の最低限度を異にするため僅か四箇月間に

▼六圓高と なり薪炭之に連れて五割內外昂騰した炭價騰貴の理由が縱令正當なりとも眼前の窮狀及び朝鮮の民情を思量するに就いて暫らくも座視するを許さず即ち京城會議所の提議陳情と同時に平壤會議所も心を同うして起ち殊に長谷川總督は重要事務たるを持せられて關東都督に交涉あり日を重ねて茲に今次の緩和を見たるは兎も角悅ぶべき現象と言はねばならぬ

東拓募債力の增大
朝鮮米一千萬石增收は可能
東拓理事 川上常郎氏談

十四日夜歸京せし川上東拓理事の談に曰く

▲增資決行理由 會社資本金一千萬圓の倍額增資時期は財界の狀態より見て或は多少遲れたりとも考へらるゝが、增資の如き大問題の決定までには色々の順序や手續きがあつて思ふ樣に行かない漸く最近當局の認可を經て發表の運びに至つたのである、その決行理由は財界膨脹の際會社の資本を增し組織を大きくし、而して募債能力を殖さうと云ふにある增資々本金の拂込の如きは一回二回を急いで徵しても五百萬圓位であつて會社の事業資金として大を補する事を得ねけれど東拓法は拂込資本金の十倍まで募債能力を認めてゐるから例へば增資新株より五百萬圓の拂込みを徵すればそこに五千萬圓全額の拂込みを濟ますれば一億圓の募債力を加ふるわけで之等の餘力を蓄積して第二期擴張に備へて置かうと云ふのである

▲各方面に進出 增資新株二十萬株は六月一日現在政府以外の株主に對しその持株と同數の任意引受けをやらせ六萬株だけを額面以上で公募する事となつた、公募は多分六月上旬となり第一回の拂込みは七月に入るであらう、何分御承知の如く東拓は昨年來營業區域と範圍が廣まり資金一千萬圓の海外興業會社の設立に關與しその四分の一の株式を引受け第一回の拂込みを終り哈爾賓の電燈も六十萬圓で買收し日露合辦で經營する事となつた、その他鮮滿の不動產金融に一層力を注ぎ各種事業の新計畫も諸種調査してゐるので今後資金は多々益々要する譯である

▲哈爾賓電燈買收 今春東拓の手で買收したハルビン電燈は日露合辦の經營とし社長には高瀨理事が就任する事に最近決定した、ハルビン電燈の事業に就ては將來改善せねばならぬ多くのものがある、又その發電により經營し行くを有利とする公共事業もあらう、然し乍らそれらの問題は時局平定後に讓るべきもので今日兎角の論議を費やす時でない、唯北滿洲に於ける我國の勢力を具體化せる哈爾賓の公共事業たる電燈の經營權を我國の一會社の手に收めたと云ふ事には極めて深い意義の藏せられてゐるではないか

▲新事業難 東拓としては朝鮮內の各地に多少新事業の計畫を有してゐるが、時局がこれでは先の見通しが附かぬのみならず諸機械材料は非常な高騰で然も容易に得難いと云ふ有樣だから輕々に發表も出來ない、唯各種の計畫を有し折角調査中とだけにして欲しい然し乍ら水利事業開墾事業等はその經營に必ずしも時局の惡影響を受くると云ふ譯でないから、目下も大に調査し計畫してゐるが、許可の指令に接し次第工事はドシドシ進めて行きたい希望である

▲朝鮮米增收觀 貴紙にのつてゐた渡邊副議長の內地食料品不足を朝鮮より補ふ事にしたら―と云ふ意見は或る程度まで可能である。結構な意見である。朝鮮の米產を現在より一千萬石を增しそれを內地に移出する事は出來ない相談でない。それには第一水利事業の第二に施肥である、水利は必らずしも國費のみに賴る必要はあるまい內地でもやり民間でもやるが好いのである、施肥は總督府當局並に當農者に於て大に勸獎する方針をとられば其の效果を見難いと思ふ

▲配當增加 東拓今期の成績は米高のため從來の記錄を破つた從つて配當も一分增しの年七分五厘ときめた譯である、今後も此の配當率は持續し得らるる事と思ふ

內地行滯貨(現狀)
漸減の傾向

內地行連絡貨物輸送狀況を見るに五月十日現在に於ける在荷數量本州行二萬一千五百八十七噸九州行三千八十四噸合計二萬四千六百七十一噸にして之を前旬に比すれば五百十九噸の減少を示せり其の內譯左の如し

各驛滯貨	本州行	九州行
一月中申込のもの	二、二九八	〇
二月中同	五、六三四	〇
三月中同	二、九二五	二一
四月中同	二、一五九	八三
五月中同	四、二九一	九八二
小計	一七、三〇七	一、〇八六
二、釜山棧橋滯貨	二、七四一	七七一
三、輸送中のもの	一、五三九	一、二二七
合計	二一、五八七	三、〇八四

右の內滯貨驛の主なるものを擧ぐれば仁川(三、六一二)群山(三三[?])鎭南浦(九七九)南大門(三[?])鐵原(一三〇二)金鄕(一一[?])等にして大豆其の八分通りを占め居れり而して關釜間輸送力は從來の通り一日平均八百噸なるも四月廿六日より下關に於ける連絡貨物荷捌への爲め本州行四百五十噸、九州行三百五十噸に改めたり尙發送に對する制限は從前の通りなり

鐵道工事概況

四月三十日現在に於ける朝鮮鐵道建設改良工事其他業務成績概況左の如し

▲京釜線

一金泉秋風嶺間線路改良工事(十哩一分)土工六分三厘、橋梁七分二厘隧道左の如く鑿掘竣通し六分三厘成工
細松隧道(延長二百三十八呎)側壁竪築三十呎
太平隧道(延長千九百八十呎)同 三百三十呎 排築第二百八十九呎
新村隧道(延長千二十三呎)同 五百卅二呎 排築第二百七十三呎(豫定竣工八年一月十九日)
一秋風嶺永同間第一工區線路改良工事(六哩八分)土工五分七厘、橋梁六分五厘、隧道左の通にして總鑿を通し五分一厘通成工
黃澗隧道(延長二千三百四十三呎)導坑掘鑿二千百二十三呎、側壁竪築四百八十二呎 排築百八十呎(豫定竣工八年一月十五日)
一秋風嶺永同間第二區線路改良工事(六哩八分)土工四分七厘、橋梁三分五厘、總鑿を通じ四分五厘通成工(豫定竣工七年十一月廿二日)
一伊院停車場前後線路改良工事(五哩四分)土工五分六厘、橋梁四分九厘、隧道左の通りにて[illegible](豫定竣工八年一月二十[?]日)
[illegible]隧道(延長二千七十三呎)導坑掘鑿[illegible]
一沃川大田間線路改良工事(殘工事八哩九分)土工七分六厘、橋梁七分六厘[illegible]

▲湖南線

一大田停車場本屋其他改築工事總體を通じ八分五厘成工(豫定竣工七年六月十五日)
[illegible]

▲京元線

[illegible]總體を通じ九分[?]厘成工(豫定竣工七年[illegible])

▲咸鏡線南部

[illegible]新設工事[illegible]總體八分四厘成工(豫定竣工七年六月廿四日)

京畿繭販賣額

京畿道管內に於ける大正六年中の優良繭販賣狀況を聞くに共同販賣數量二千九百二十九石五斗、個人販賣數量四千四百三十七石七斗、合計七千三百六十七石にして其の販賣價格は合計四十四萬一千二百三十二圓を示せり內共同販賣價格二十萬六百十二圓、個人販賣價格二十四萬六百十八圓にして一石當平均單價を算すれば五十九圓九十三錢を示せりと

電報遲延理由

最近電報の遲延は一層甚しき觀あるが右に付當局者は曰く最近電報の著しく遲延するは(一)內地に於る天候不良のため漏電多く通信障碍ありたる事(二)大相撲開場以來長文の新聞電報その他一層激增したる事(三)從事員の不足にあり到底避け難き事なりと

大正水利竣工式順序

平安北道龍川郡に於ける大正水利組合並に不二農場の竣工式は來る二十七日を以て擧式に決定し當日請待すべき官民の主なる人々に對しては夫々案內狀を發送せり

▲參列者 二十六日午前九時半京義線枇峴驛に到着の上大正水利組合枇峴出張所[illegible]

▲往復時間 京城方面よりの參列者は二十五日午後九時四十分發夜行列車にて[illegible]

▲接待係 は農場職員全部其任に當る[illegible]

大山公爵通過

公爵大山柏氏は十五日午前內地より京城通過北行せり

議員團安東觀察

代議士一行は十四日午前九時半安東着同十時半發列車にて奉天に向け出發せり停車場には森領事始め官民多數の送迎あり一行は停車時間を利用し安東附近の地理及び狀態を聽取し又支那町日本町或は柞蠶工場などを視察するものありたるが詳細の視察は來る廿三日歸途の際爲すべしと(安東)

奉天觀察

衆議院議員視察團一行は十四日午後六時奉天着十五日一日を視察に費し同夜出發北行四平街に赴くべし(奉天)

軍司令官動靜

南鮮諸部隊檢閱中の松川軍司令官は十四、五の兩日大邱滯在十五日は金久保少將以下副官參謀を隨へ歩兵第八十聯隊の檢閱を施行せるが十六日午後大田に赴き十七日同部隊檢閱を了へ十八日午後八時五十分龍山著歸任すべし

立花師團長檢閱

第十九師團長立花中將は十五日も引續き岡本參謀長、小田參謀、田崎、隨田、大沼副官、軍醫經理部員等を隨へ歩兵第七十八聯隊の檢閱を爲せるが十六、七兩日も野砲騎兵隊の檢閱を施行すべし

九州見物(十二)
溪生
熊本の印象

熊本は落着ある都なり、靜雅なる地なり、封建的臭味強き處なり、高處に登り俯瞰するに、市街には樹木繁茂して、恰は綠に蔽はれ、一見

◉杜の中の都會 の如く煤煙の空を蔽すものなければ、ケバケバしき市街をも暴露せず。煤に黝みたる北九州各地を觀來れる旅行者は熊本に來つて、始めて平和の氣を味ふ事を得、それ丈け田舍臭き處はあれど懷しく親しみある都なり。熊本著早々本妙寺、加藤神社等に詣で、水前寺を訪ひたる記者は本妙寺にては英雄の事蹟を聞き、苔蒸したる墓邊を逍遙し、線香の匂ひにお寺詣での

◉氣分を味はひ 加藤神社にては肥後平野と阿蘇山脈とを大觀し、水前寺にては清冽なる泉水に心の塵を洗ふ。之だけにても旅の疲れを癒すに足るを、旅館につけば綠川に面したる座敷に通ずる、楓、柳などの綠川の面を蔽ふ、綠川とは此の座敷より眺めたる景色を取つて、名けたるならんと思はる

◉敢て風流を衒ふ には非ざれ共、風致の優なるを處れて浴後のタオルを欄干に掛くる事を止めたる程なり。晚餐の頃となれば川向ひの旅亭より、靜かなる三味の音聞ゆ、皆口々に此の風流を味ひ得と、相顧みて笑ふ。大自然に於ても小自然に於ても熊本にては、幾多の好印象を與へられたり。而して肥後米に至つては

◉之又格別の味 なり、[illegible]熊本には人口六萬五千もありながら未だ電車の施設だになし、[illegible]市街を歩けば砂塵際限なく黑煙を吐き歩く何ぞや[illegible]輕便鐵道が市中を通過するは何ぞや、市民は市の體面を[illegible]大變な不體裁なり[illegible]旅館の薄遇が然らしめしかと思へば

◉滑稽にもあり [illegible]我々は[illegible]歩きて見す。此以來何處の土地に行きても、其の持て方を批評する惡習慣生じたり

石塚總裁來期

東拓總裁石塚英藏氏は六月中旬頃來鮮の豫定なりと

久保局長歸任

中村都督を釜山迄見送りたる久保局長は東萊溫泉視察の上十五日午後一時半發列車にて歸任すべし(釜山特電)

北關遊草

永興灣所見 東溟 持地六三郎

水天空濶遠山微。碧海洋々靄夕暉。鷗舶吹烟前進處。輕鳧點々蹴波飛。

次韻 船遊 古海巖潮

平波如鏡占風微。積水連山映夕暉。巨艇鼓輪離岸處。驚禽三兩掠人飛。

次韻 稷江 桑原八司

海門波穩一帆微。永興山頭帶落暉。浦港何遐吳萬里。水連天處白鷗飛。

舟中所見 船遊 古海巖海

點々漁舟拜晚晴。近山如鏡遠山平。春光容逐逝波去。倚見北關殘雪明。

次韻 持地東溟

安瀾一路喜新晴。舞水端邊積水平。獅認道山殘雪白。北洋五月望猶明。

次韻 香原綾江

紫雲搖曳曉天晴。風靜滄波萬里平。舞水端邊倚欄望。遙見烽光[illegible]

酒前錄

◇一時露國の興亡を一身に背負はんとせし[illegible]も失脚後は[illegible]
◇近時夫人は愛兒二人と每月給與の三百留に不足し卷煙草捲の內職[illegible]
◇天下を取らんとして取り損なひ彼よりも失敗者の家族の末路可哀[illegible]
◇米人平凡氏寄附の帝大平凡講座は吉野作造博士擔當日米問題を講ず[illegible]
◇學生運の總評を獎勵するも[illegible]漸減し大部分は[illegible]
◇試に學生に問へば苦笑一番平凡講座は平々凡々なりとは洒落たり
◇支那南北戰に南軍の捕虜となりし北兵は顏や手足に藥液で染[illegible]
◇文句に曰『不次不要來』或は『不[illegible]要來』と書きて追ひ放すとは酷也
◇且砲を取り上げ路銀として一弗を與ふ、鐵砲一挺一弗とは大安價
◇之では『不次不要來』よりも寧ろ鐵砲を持て來いと云ひ相なもの
◇獨逸の英佛捕虜取扱は頗る慘酷なりと云ふ支那の方が餘程文明
◇支那人に芝居氣多きは今更[illegible]する譯には非ざるも之は又た大當
◇女の自殺者に手巾に紅を塗り之は紅涙也と遺書する者あれば
◇男には國家の前途を慨慨に堪へずして護國の鬼たらんと云ふ者も
◇其何れもが病氣或は不身持然ざれば食に困る連中に多しとは面白
◇死後を飾らんとする芝居は却て死後に醜を殘す心すべき也

人事消息

◉黑澤龍山工場長 黑澤滿鐵京管[illegible]龍山工場長は十五日朝內地より[illegible]
◉今關囑託東上 總督府囑託今關天彭氏は往復十四日の豫定を以て十五日夜出發東上す
◉竹島氏の轉任 朝鮮銀行營業局長竹島靖氏は今回吉田營業局長の推薦により中村精七郎氏經營の神戶銀行福岡支店長に就任する事となり過日出發したり
◉朝郵專務東上 松崎朝郵專務は新造船舶註文その他の社用を帶び十四日午前八時四十分南大門發往復十日間の豫定を以て東上せり
◉米氏視察團招待 商業銀行重役朱性根氏は十四日夜日本米視察團員全部を自宅に招きて盛宴を張れり
▲赤星眞嗣氏(京城鐵道主) 十五日朝入京朝鮮ホテルへ
▲山口勝夫氏(安東驛長) 同上
▲陶山總督府嘱託 十四日午前出發鎭南浦[illegible]
▲八島土木局京城出張所技師 [illegible]
▲藤田審查官 [illegible]
▲宮舘眞一氏(總督府會計課長) 十五日午前發京
▲麻生新藏氏(鐵道部) 久しく東上中の所十四日午後九時南大門發列車にて夫人同伴歸京

定價 本紙 一部金五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話[illegible]

時間表 (十一月一日現行)
[illegible]

大谷光明師（西本願寺連枝法主）
―十六日朝南大門驛を通過さる―

朝倉飛行場は 對外策戰主力根據地

【久留米來電】十八師團參謀長東大佐は十一日九州福岡縣下朝倉に創設さる可き航空隊の飛地候補地は他の師管下にも亙り數個所あり九州の航空隊は所澤、各務原の諸隊とは稍々其の設置の意味を異にし全く將來の對外策戰の要求に基きたるものにして從て將來我陸軍航空隊の主力根據地たる可き性質を有し漸次規模擴大さる可し（東京特電）

『自分の僻みが淺間しい』
―輝春視察團還る―
◇黄團長所感を語る

京城十數日に亙り各方面を視察した輝春視察團一行は十五日午前九時半愈々京城出發

◇見聞談をしても理解されないから
また觀光團を組織して母國を訪問すると言ふ原動力が働かねば動かない母國は其原動力となつて北に北に進展し我々が出來ると思ふ、實は我々は京城著の當時は盛んに歡迎されるので中には我々が田舍漢だから眼と耳と口を歡ばせて懷柔しやうとするのだらうと僻みもしたがだん／＼日を經るに隨つて内鮮人が合同で如何にも血を別けた同胞に邂逅つたかの樣に

◎誠心誠意 歡迎して呉れた事が了解されたので今更ら自分達の僻みを淺間しく思つてゐる、歸鄕後今度の視察に依つて得た所の見聞談をしても誰れも信ずる者もなからうし又理解し得ないだらうから今後は盛んに觀光團を組織して母國を訪問する心意です一行を引率して來た須永通譯生曰く

◇支那側の壓迫
『來る時は[illegible]を恐れて逃げかくれしながら朝鮮に來たが今度歸りには皆意氣昂然たる者で支那人の如きは時代の落伍者だと氣焔を吐いてゐる一行が最も意を強うしたのは日本の軍隊が精悍で規律が正しく鋪いた速射砲を持つてゐる支那の軍隊と違つて糧食武器が庫に滿ちて居る處を

◇實地に見て 始めて日本軍の強い理由を會得したらしい、軍隊の力、國境外にある者は是に頼るより外にないので皆安心して居るやうであつた』

◎歸鄕の途 に就いた、南

大門驛には李完用伯、趙重應子爵、李允用男、閔泳綺男、時■課長を始め大正親睦會老人組等より多數の見送りあり黄團長の熱誠籠た感謝の辭があつた、賑々しい奏樂裡に汽車はプラットホームを出た、途中まで見送りの記者に向つて黄團長所感を語る

◇私は露國へは
度々行つた事があるが露國では何處の工場でも必ず外國の技師が傭聘されて居たが朝鮮では何處へ行つて見ても内地人と朝鮮人許りで行つてゐる、然も規模が大きいのには驚いた、治水と治道の完備して居る事も想像外であつたが鮮人教育の施設に對しては全く嬉し涙がこぼれた歸鄕後は大いに

◎新教育を 盛んにせねばならぬと思つてゐる將來朝鮮はどうしても北に勢力を展さねばならぬから其第一著手として輝春方面に盛んに投資し産業の開拓民智の增進を計つて貰ひたい機關車は蒸

◇牡丹の宴
＝李王殿下官民御招待＝

昌德宮仁政殿前の牡丹は既に蕾を破りたるもあり、來る十七八日頃一齊に咲き揃ふべく以後雨三日は見頃なるべし右に就き

◆◆李王殿下には十八日正午より山縣政務總監、松川軍司令官以下文武高官、並に公殿下を始め御親戚貴族等を御招待仁政殿に於て觀花午餐會を催ほされ又妃殿下には午後三時より政務總監夫人御親戚夫人以下内鮮上流婦人を

◆◆御招待茶話會を催ふさる御豫定なり又十九廿日兩日特に官民新聞記者等數百名御招待の上觀覽せしめらる、其時刻は十九日は日曜に付き午前十時より午後四時迄廿日は午後一時より同四時迄にして參觀者には茶菓の饗應あるべし

◇民族の膨脹發
展を期してこそ東洋の盟主たるの實質を具ふる事

肺ヂストマと癩病
▲全鮮に於ける統計

	患者數	死亡	患者數	死亡
京畿	二、二六四	六三	二三	二
忠北	一六一	一七	一〇	二
忠南	六五三	六	二五	六
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎浦鹽の英艦 牧師殺さる
＝浦鹽オケアンスカヤにて頭部を拳銃で＝

浦鹽碇泊英艦サフォーク號乘組牧師は十二日浦鹽郊外オケアンスカヤに旅行せる儘歸艦せず搜索の結果拳銃にて頭部を射拔かれ屍體となり居るを發見し目下種々調査中なり（浦鹽電報）

◎滿鐵貸事務所起工

奉天驛前滿鐵貸事務所は昨年火災に罹りたる故修繕に決し十四日御祓式を催し愈工事に取懸りたり（奉天特電）

◎醫學堂運動會
南滿醫學[illegible]

▼京城通過
十六日朝八時

西本願寺連枝法主大谷光明師は紀子の方と共に微行にて大連より歸東の途安東を十五日午後七時卅分通過南下十六日午前八時南大門驛、同四十分釜山へ向け出發の筈なりと

▼光明師奉天通過

西本願寺大谷光明師夫妻は豫て上海方面より北京に出で大連より谷光瑞師に會見し十五日朝大連より奉天着直に安奉線にて朝鮮へ向へり（奉天特電）

◎光明師
歸還の途に就かる
◇十四日大連發

裏方紀子の方と共に星ケ浦に滯在中なりし西本願寺連枝大谷光明師夫妻は光瑞師の病氣快方に向ひたるを以て十四日午後八時發列車にて大連出發奉天に向はる（大連特電）

◎奉天に於ける 議員視察團

十五日夜更に北行すべし
衆議院議員滿鮮視察團一行は十四日夜著奉滿陽館に入れり奉天官民有志は十五日金城館に招待會を開き猶總領事館、張將軍の饗宴あり一行は十五日夜奉天發北行す可しと（奉天特電）

婦人と小供
◎物價騰貴と慘劇
＝婦人の努力が足りない＝

物價騰貴の聲が漸々に大きくなつて幾多の悲劇慘劇がその中から生れてきました、政府でもこの悲慘な聲を何とかして緩和せんと物價の調節令まで發布になりましたけれ共その効果はこの時勢の要求と戰亂の渦中に卷込まれて、困る者は依然として困り成金振りを發揮する者は依然としてこれを續けると云ふ有樣で、ほんとに何時になつたらホット安心の息――それは休憩の息でも好い、つける事かわかりません、と斯う同情して仕舞へばそれまでですけれ共

◎物價騰貴は果して何處まで騰つて居るのでせうと私は日々の生活の上に最も必要な生活品の一部分に付て二年前の六月に調べたものと比較して見ました、米は二年前の六月現在に比べてその倍額に達して居ります、其の他のものでは醬油が一斗に付いて一圓方、お酒は約一割三割方、お砂糖が約一割、白砂糖赤砂糖共一斤に付いて三錢位、お味噌が百匁に付二錢位上つて居るやうです次に

◎牛肉は各等百匁に付き十三四錢方の値上がりを示して居ります、鷄卵などは目下二錢ですが二年前は一錢で買へたやうです、鯖は百匁に付いて四五錢方、馬鈴薯も一二錢は上つて居るやうでありますが目下牛乳一合七錢五厘豆腐が六錢、油揚が三錢、蒟蒻が二錢その何れも多少

◎これは上つて居るやうですこれを内地の東京、名古屋、北海道、大阪、岡山、福岡等の何れに比較して見ますればそれでもまだ朝鮮の方が生活の上に幸福なやうに思はれます、しかし或點に於ては植民地といふ處に苦しい點もないではありますまいけれ共、要するに斯うして二年前からの標準を取つて見ますと今日だつて決して生きて行かれないだけに苦しい筈はないと思ひます

◎生活の中心點は專ら婦人の責任にあるのですから最少し現在の婦人が覺めて努力したなら決して悲觀したものでもあるまいと思はれます、經濟的にまだ／＼覺めなければならない幾多の問題が現今の日本の婦人には澤山あります、生活難と云ふ聲が生んだ數多い悲慘事、な慘劇、これを思つてもゾッとするやうな勇氣と努力を以て婦人の使命と云ふ方面へ進んだなれば物價騰貴位突破するにさして困難はないであらうと私は密かに思はれます。

◎杉田氏實弟 十年を求刑さる

貴族院議員杉田定一氏の實弟小林定彬の後藤前鐵道院總裁、野村西管局長を名指したる文書僞造行使詐欺事件は檢事に於て十年の求刑ありしも非常なる盛會にて優勝旗は四年生組に歸したり（奉天特電）

運動會は十四日午後開催稍風ありしも非常なる盛會にて優勝旗は四年生組に歸したり（奉天特電）

◎五條子の息轢死

貴族院議員五條爲功子の三男爲春（二）は十三日夕刻東海道線吹田驛近にて誤つて轢死せり（大阪特電）

◎人事相談所設置

大阪驛前什根崎署にては地方民を救済其の他の誘惑の手より救ふ爲に十四日より人事相談所を設けたり（大阪特電）

◎漁船難破

全南莞島郡青山島居住漁民莫相金外二名は四月十八日同島東沖合に出漁中颶風に遭ひ日本形漁船は激浪に翻弄され岩石に打當てられ難波し漁具一切流失し乘組員三名中二名は九死に一生を得たるも莫は其儘行衞不明となりたれば其筋にては手配中なり

◎新築戰跡記念碑

泗川新築戰跡記念碑除幕式擧行は既報の如くなるが新築は實に昔の露梁と南山と共に戰は豐公征韓役三大戰と云はれ明軍の精鋭に當り防勢より攻勢に轉じ赫々の功を收めたるもの就中泗川の大戰は征韓役に於ける掉尾の大戰として明軍十萬に對し薩軍僅々五千の寡兵を以て擊破し大捷を得たる古戰場なるを以て東鄕司令官、松原伸太氏等發起して島津家の後援により古戰場一帶を公園とし中央に記念碑を設立するに至りたるものなり

大掃除
＝十六日＝

京城本町署管内實施區域は左記の町内に大掃除を施行すべし

南大門通一、四、五丁目、黄金町一、二丁目、蓬萊町一丁目、御成町、旭町一丁目、倉町

◎女髪結組合設立

京城内地人女髪結同業者にては豫て組合を組織し其の設立認可につき警務部に申請中の所十五日附を以て代表者太田ひき、田中なをに對し警務部長の名を以て認可の指令ありたり

◎高普生見學

高等普通學校生徒百八十名は十五日見學の爲め京城郵便局に赴き郵便電話操業狀況を觀覽後本社各部を參觀し

本社懸賞募集 一等當選防寒建築案説明
前號朝刊一面圖案參照＝當選者 高岩靜氏

前號朝刊發表本社懸賞募集防寒建築案一等當選圖案は總建坪四十四坪六合七勺内本家四十坪二合五勺附屬物置二坪二合五勺の平屋建にして略說明の如し間取りは内玄關を板間とし玄關の間は三疊玄關左に八疊の客室を取り右側を上疊とす玄關の間より居間八疊を取りて居間の左方を六疊の茶の間とす玄關の左方に小し許の空地を隔て三疊の下女室を取り居間の斜右方に突き出して三疊の小供室、同室と並んで四疊半の老人室を取れり而して下女室に隣りて本家の最左方に臺所及び風呂場の二室及び風呂場に隣りて鯆を取り玄關の間より左方に居間茶の間と下女室臺所、風呂場の間には廊下を通じ更らに茶の間居間を一周して左方に折れたる廊下には小供室の前を通じて老人室の入口に至り廊下は居間を圍る客室に突き當り更らに土間より臨出口に續けり暖房には何れもペチカを用ひ居間茶の間及老人室小供室の各二室毎の境に各一個のペチカを有ち客室に別にペチカを用ひざるは當用の室に非ざるを以て必要の場合は箇ストーブ又は置ペチカを使用す玄關を北にして南面の建築なるが故に太陽の射入宜敷を圖りて暖房の他は構造に於て周圍壁は一枚半厚煉瓦とし仕上げは寒氣に備ふる爲下塗よりモルタルを使用す窓は二重にて外側兩開硝子内側紙張障子天井二重板張上部に土を置き溫氣の散失と小屋裏よりの寒氣の侵入を遮斷し床も亦同樣

この頃の帶

セルやフヰルの着物か若い時にはドンナ帶を締めたならばよく似合ふかと云へば前に紹介した通り洋物は心もち色目が濃いから帶は大よりぐつと派手な紅いのが好いが地はなるべく薄いコバルトのやうな草花の刺繡がありますものが大變受けるらしいこのやうな色の地へ鶴の紋が染抜いたものでお値段は十四圓から十八九圓迄

◎僧侶降誕會

新潟高野山に於ては十七日降誕會を擧行するより十六日は信徒多數山にて種々の草木花を取り花堂を造り十七日は午後二時より法會を修行し法話等あり

讀者文藝（一等には五十錢の賞品券を呈す）
▲下句付課題「惜しい哉」

惜しい哉少し盛りが過て居る（―）

▲天下泰平だ	京城	默想坊
▲[illegible]	南山町	角戀坊
▲[illegible]	北米町	春曙
▲[illegible]	大邱	東村生
▲[illegible]	龍山	多美郎
▲[illegible]	南山	岸生
▲立派に言へど胸の内	大田	山人

[illegible]

□募集規程
▲用紙は端書叉は同形の用紙一枚毎に雅號叉は住所氏名明記の事▲一題一句

當籤金を寄附

（一等八名）張祈福、市川榮、青木省三、大山柏、外人三名（二等二十八名）三名、同三枝、寺井愛、大隅、永野松太郎、外人二名（二等七十二名）二村龍治、宮原氏、中村榮助、[illegible]

商況
兵庫期米
大阪株式特電
大阪三品特電
大阪期米特電
下關期米特電
雜報

◎綿糸更に小高し
◎綿布三銘も十圓八十五錢
◎管米と期米
◎正米は弱持合
◎米價の調節を圖る目的なれば政府の方針として內地の期米相場を二十圓乃至二十一圓臺に下落するを迄外米賣出しを繼續
◎落の上には一繼利目
◎和紙は高氣配 割以上の値上見に一割乃至一
京城雜穀
南大門の廻米
仁川正米
釜山穀物（十四日）
仁川期米
十五日前場（下落）先二十一圓〇二錢と一錢安に寄付
▲堂島格付に就き 七十錢を控除する譯
四圓十錢乃至八十錢
大阪と仁川の鞘
逐に三圓二十錢に迄縮少
仁川取引所 十五日の七月限

市場雜觀
天二十五圓二十九錢と昨日より四錢
大阪天候塁
大に商時入電に更に七十一錢
賣物續出に忽ち二十一圓八十錢と落
大きに打算は約二圓切の大割高を持
格下
不勢の成行
◎支那粟小底か 約三十錢方下押
入確實は一部の輪
下關相場

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長七〇番

晴後曇
（十五日午後六時迄）

…死亡者一千零二十七人あり又痢病患者は二千、零二人にして內死亡者二百六十二人ありたり今道別に示せば

	肺ペスト		痢病	
黄海	九、五〇七	一三六	二六	二
平南	八、六七七	一三三	二六	三
平北	一二八	二一	七	七
江原	一、八〇二	七三	五六	一
咸北	一〇五	二	一九	一四
咸南	一、二七〇	八三	一〇九	一五

●吉會線の岐れ目
三線其の一を擇ざる可らず

吉會線鐵道の現實は今や時期の問題となり過般滿鐵の飯田技師は之が爲め吉林會寧間を踏査せり恐らく線路最後の調査に屬し今次飯田技師の復命によりて同線路は略決定せらるべきならんが全線中問題として從來區々の評ありしは同線路が龍井を通過し火狐狸溝（一名兀良哈）の嶮を經て會寧に出づるか又た龍井を經ず局子街附近より鍾城に出るか或は局龍兩地を迂回し鍾城に出づるかの三者其一を擇ばざるべからざるかにありて地方の死活を制する鐵問題は此一決にあるべし傳ふる所によれば局子街は哈爾巴通河に沿流するを以て地形上停車場を接近せしむるに不便大なり即ち局子街に停車場を設けんには哈爾巴通河に鐵橋を架する煩あり假し局子街に停車場を設くるとするも相當に其距離の間隔を要し此區間地に取りて頗る不便を感ず而して龍井を通過せしむるや否は兀良哈の嶮によるか將た鍾城街路によるとせば多少の迂回を免れ龍井局子街とも不利の地點にあるのみならず兩立せざる嫌あり故に此點百年の長計を定むるには徹底の研究を要すべきも吉會線鐵道としては兩地を無視し難き事情あれば結局龍井に迂回し局子街に支線を延長せしめ斯くて兩地の要調を期するに至らんとの說あり（間島）

●主權は何うでも
◆革命財產さへ安固ならば◆

露國帝政復活說に就ては哈爾賓の露國民は何れも冷淡の眼を以て迎へ居り只今時の如き極度の混亂渦中より脫するを得れば日本の如何なる行動にも反對せず又獨逸の支配下に服するも差支へなしとまで極言するものあり兎に角生命財產安固の位地に置く上に於ては帝政の復活に反對するものに非ず又如何なる國を問はず秩序を維持し常に復すれば其の治下に甘んずるもの、如し（長春）

●募兵不成績

吉林孟督軍が今回露國境防備をいへる名目の下に第五混成旅團を編成せんが爲め募集したる約一萬の新募兵は吉林に於て目下盛んに訓練を受けつゝあるが年齡、身長體格等甚しき差異ありて少しも一定せず、殊に任意にてもなく大る支那民家を以て之れに充て居るより將校に…起居動作の餘り嚴格ならざる支那兵が尙一層不規律なる狀態を現はし居れり又今回の應募兵も苦力上りの者多しとの事なり（長春）

●慘たる御身の上
◆露國廢帝と廢后皇女◆

ウクライナ來電によれば勞兵會本部の決議に依りニコライ二世及び皇后並に一名の皇女はトボリスクよりエカテーリンブルグに移しウクライナ勞力會の監督下に置くに決せりと（哈爾賓）

●安全地帶と目して
◆露人續々哈爾賓へ避難す◆

哈爾賓より歸來せし者の談によれば目下同地には資產家階級の露人が安全地帶として避難し來れる者多きより市中小賣店舖は俄に活氣を呈しつゝありされど解氷後に於る松花江の水運を利用せる黑龍江方面への大口取引は過般支那政府の發せる過激派及び獨墺捕虜に物資の供給を禁せる結果航行に區域を限れると一方唯一の北方の中繼地たるブラゴエの混亂等の爲に開業による商業閑散の有樣なり（奉天）

蠶況　＝大邱

慶北蠶業講習所に於ける試驗用蠶兒は十日既に一眠を撒したり而して附近民家にては掃立後一二日を經過せしのみにて未だ充分なる見込み立たざるも槪して此の分なれば發育良好ならんと

●鰯と鯖の大群
鬱陵島に襲來

慶北鬱陵島沿海には昨今夥しき大羽鰮及び鯖の大群集來したるも從て海島職を本業とせる同島民は之等を捕獲すべき漁具無く爲めに島民は可惜此の巨利を眼前にして手を空うする有樣なるより茶谷同島司は十日夜慶北道廳に向け漁具の貸與方を電請したるも道に於ても之等の準備無き爲め當局に於ては目下本府並に營業者等に就き右漁具の詮議中なりと（大邱）

●忠南の優良酒

公州の忠淸南道廳に於て道內酒造家の釀造に係る新淸酒の利き酒會を開催し道長官兩部長各主任公州郡廳員市內酒販賣商人等酒に經驗あるもの之が審査の任に當りたるが其結果釀造良なるものゝ五品を得たり但し本年の釀造酒は槪して出來榮ね好く內地酒に比して遜色なく且つ價格の點よりして見るときは非常に割安なるを以て需要多く隨つて各酒造家は益々造石高を增加する意氣込なり（公州）

（寄書）
朝鮮と森林火災（三）
深谷留三

火田耕作が山火に對し密接なる關係を有すること夫れ斯の如し、此の他尙朝鮮の如き古來各自利益を追ふに急にして德義的觀念の薄弱なる所に於ては交通不便の地にして警務官憲の取締周到ならざるを奇貨とし低廉なる燒拂木を獲るの目的を以て往々森林に對し故意に放火を敢て爲す者尠からず、之を要するに朝鮮に於ける山林火災の頻繁にして燒損面積の多大なるは素より人民一般に公共的觀念を缺き特に愛林思想に乏しく到る所不當なる火入を爲す者多きに困るべきは明なる所なるも又火災に對する各種防備機關の缺如も亦與つて力あり殊に山林保護監視員の擔當區域過大なると且つ未だ專任保護監員又は山林監視所員を配置せざる多くの國有林に對しては一般警務官憲をして豫て其の保護取締の任に當らしむるを以て孰れも充分林內を巡視すること困難にして克く其の職責を盡す能はざるに由せずむばあらず、固より今遽に山林保護取締上充分多數の專任保護監員及び監視所員を配置せしむるは經費の關係上困難なるのみならず、之と同時の如き不完全なる保護機關を以て廣大なる山林に對し火災、盜伐の防備其の他諸般の森林保護の效果を遺憾なく擧げしめむとするは頗る難事と謂はざるべからず、輓近工業、鑛業、其の他一般經濟事業の進展に伴ふ木材の需要は著しく材價の昂騰を促し殆んど停止する所を知らず而も之が需給の關係は年と共に漸次困難に陷り木材消費節約の聲漸く大ならむとするの時に當り朝鮮に於ては依然として尙舊來の陋習たる火田耕作を墨守し爲に惡るべき山火の主因を成し年々巨額の材木蓄積を燒燬せしむるが如きは林業上並に國民經濟上決して看過すべき問題に非ず況んや火田は此の他幾多の悲慘なる災禍を誘起するものなるに於てをや、然らば今日の朝鮮農民たる者其の耕作上に付多大の制限を蒙るべきは時勢の進運に伴ふ自然の結果にして彼等は其の苦痛を忍ぶの覺悟なかるべからず蓋し從來の火田耕作法を制限するは彼等頑迷無知なる火田民の一大覺醒を促し自ら平野地方に轉じ倍舊の資本及び勞力を投じて集約的農業を營むの餘儀なきに至らしむるを主眼と爲すものにして之が整理は從來至難の事業と稱せらるゝ所なりと雖、是等火田が山林に對して絶對に害毒を及ぼす以上は山火豫防上將又國土保安上須らく之が積弊を排して之が制限又は防止の斷行を期するは刻下の急務と信ず（終）

●輕鐵の延長
◆大邱より琴湖まで◆

朝鮮輕便鐵道浦項線は從來大邱河陽間の一部營業中なりしが工程中の河陽、琴湖間四哩の竣成を告げたるを以て來る十六七日頃鐵道局に於て竣工檢査を成したる上二十日より大邱琴湖間の營業開始となる筈にて運轉時間を左の如く改正せり

大邱琴湖間

	(前)	(前)	(後)	(後)	(後)
大邱(發)	七、二〇	九、〇五	一、三五	四、三五	六、二〇
東村	七、三四	九、一五	一、四五	四、四五	六、三四
半夜月	七、四六	九、四三	二、一三	五、〇三	六、四六
淸泉	八、〇三	一〇、〇〇	二、三〇	五、二〇	七、〇三
河陽	八、一五	一〇、一二	二、四〇	五、三〇	七、一五
琴湖	八、二五	一〇、二一	三、一〇	六、一〇	八、二五

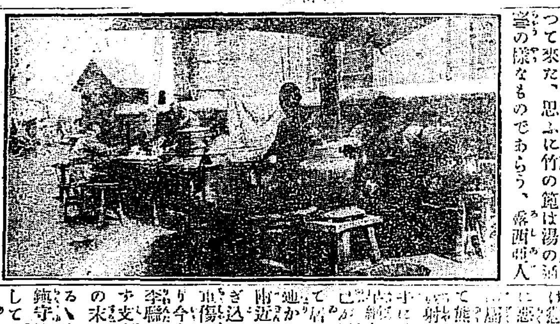
琴湖大邱間

	(前)	(前)	(後)	(後)	(後)
琴湖(發)	六、四〇	一〇、一〇	一、四〇	三、五五	六、五五
河陽	七、〇三	一〇、三三	二、一三	四、一八	六、五八
淸泉	七、一六	一〇、四六	二、二六	四、四一	七、一一
半夜月	七、四九	一一、一九	二、五七	五、〇四	七、四四
東村	八、〇七	一一、三七	三、一五	五、二〇	八、〇〇
大邱著	八、二五	一一、五四	三、三三	五、三九	八、一八

此外不定期列車は午前十時（大邱發）同十一時四十五分（琴湖著）午後二時三十五分（琴湖發）同四時十八分（大邱著）の上下各々一列車を運轉すべしといへり（大邱）

（滿洲名物）
◇飮湯賣サモワル
食卓の茶を湯の代りに

支那の街へ行くと何處でも飮料の湯を商賣にする所がある、湯は眞鍮の釜に煮きらせて大きな茶碗に一杯一錢位で呉れる、釜はいつも湯がたぎるからピー〳〵ピー〳〵と泣き立てゝゐる冬は聞き好いが夏は暑くるしい感じがする自分が一度支那人の店に行つたところ主人は待遇す心算か急に小僧に眼配せすると小僧は机の抽斗から竹の蓋一本を持つてお湯屋に驅けつけ茶ざしに充滿の湯を持つて來た、思ふに竹の筒は湯の筈の樣なものであらう、露西亞人もよくサモワルから湯をとつてはお茶をのむが支那人も可成りよくのむ、思ふに之れは大陸の空氣が乾燥するのと多少關係を有す爲めであらう（奉天生）



●呆れた支那武官
◆聯隊長不義を働きて本夫を殺さんとす◆

長春に駐屯せる吉林第一混成旅團騎兵第一營第二聯隊長の李向揚は以前伊通州に駐屯し居たる際同地の熊某なる者の女房某と密通し本夫の目を掠めて不義を働きたる處過般長春に轉補を命ぜられし熊の妻と謀りて忍び遂に意を決して熊の妻を連れ出し共に長春に來り誰憚らず夫婦氣取にて暮しゐたるが本夫の熊は其れと知つて大に怒り直ちに後を尋ねて來り女房を連れ歸らんとせしを李は己が權勢を笠に着て種々の手段を弄して追拂ひ度々追歸さんとせしも熊は益々執念深く附き纏ふより遂に惡心を起し去五月一日夜長春府城外の英國病院裏に甘言を以て熊を誘き出し所持の短銃五發を射して重傷を負はせし爲熊は其場に斃れしを李は其の儘納まりたるものと信じ己が居所に立歸り何食はぬ顏をして居たる處後に熊は巡警の爲に發見され直ちに附近にある我が滿鐵病院分院に擔ぎ込まれ應急手當を加へし處熊は重傷なれど未だ絶息し居らざるより今迄の事情を逐一陳述せしかば李聯隊長と熊の妻女は時を移さず支那官憲に逮捕され嚴重に審問の末事實明白となり近く處刑せらるゝ事となりたるが如何なる譯か鎭守使の裴旅長は非常に李を庇護して有耶無耶の裡に事件を葬り去り李は免職されたるのみにて他に何等の刑罰も受けず放免されたる爲め支那市民等は裴旅長の不法なる處置に非難の聲甚だ高し（長春）

●長春の讀書界では
◆どんな書物が歡迎されるか◆

長春では約半歲の無聊な結氷期から脫して戶外の運動に行樂に漸く之れから春の氣分が味へると云ふ頃になると盛んであつた讀書界も自然閑散になるのは何處の土地でも免れない樣であるが殊に冬期の娛樂に付ては殆んどゼロと云うてもよい長春での此の傾向は實際無理のないところである長春圖書館に付て四月中の成績を聞くに入館閱覽者七百八十六人、借出閱覽者百六十一人、總入館者千四十七人、借出冊數二百三十冊で三月に比べて入館閱覽者百八人、借出者百十人及び借出冊數二百七冊の減少を示して居る而して五月には猶多少減ずるであらうとの事である而し會員の方は一月より順次增加して現在では二百六十三人の會員がある夫れで此の閱覽者は銀行、會社員が第一位を占め入場借出し合して二百十六人で次に驛員の二百九人、官業家百九十四人、學校員百二十六人、婦人百六十六人…其他雜百八十四人…借出冊數は…首位である他に比して婦人の割合に多いのは誠に喜ぶべき事である又書籍の種類は一番文藝物や歷史物が多い樣である。兎に角長春の讀書界も此れから先暫らくは閑散の姿を呈するであらう（長春）

◆老畫師の身上◆
落ぶれし海軍少將の成の果

昨今奉天の街の巷を素人畫の水彩畫を賣り歩く露國人がある鶴生の繪には奉天の北陵、喇嘛寺などが描かれてあるが繪よりも其人物の方が面白さうである、畫家は老ひたるキタエフ氏、先達てまで露國の海軍少將であつた人の今日の身の上を聞いては革命の犧牲さが身に泌みる

◆兩高僧の來滿◆
共に北海道にて令名ある人

最近に旭川の實業家の慰問團が滿洲へ來た、第七師團の滿洲駐屯軍へ道廳更に西本願寺の當派英師及び石田慶對師の慰問師が來訪する筈當師は北海道の宗教會に令名ある人、石田師は北海道第一の巨刹慶城寺の副住職共に十七八日奉天守備隊を慰問する筈である

唐草雙紙
杵東生

◆兌換停止問題◆
漸く條件付きで見付かつた

奉天がやかましい問題になつて居た支那側銀行の兌換停止問題も愈々道中りなりにも納まつた、日本側委員小西春雄氏と支那側委員劉尙淸氏との取極めによれば此の問題は大正六年七月に協定した金融調節辦法第四項の但書を改正して更に一箇年半の期間內兌換を爲さざる事を得といふことになつた、それで支那側では來年の二月十五日以後は再び無制限兌換を爲さなければならぬといふ條件の下に發をつけた

京城日報社
お伽講演會
十七日＝仁川にて
午前（二回）仁川小學校　午後（一回）仁川高等女學校＝講堂
主催　京城日報社

第七十六席　悟道軒圓玉口演

輝虎公其頃は上杉憲政公の養子となつて家名相續いたし、當、頃職を繼ぎ居形號を免せられ淸華に列する身分、紋所まで菊桐の御紋を拜領して居る仲々地下の者は御側近く進んで物語りは出來ぬが小太郎は當時有名の劍法者、父塚原土佐守は佐竹の客臣にして三萬石の大名であるから謙信公も鄭重なる待遇、御酒を賜はり武邊の物語りをいたす、謙信公も大層御感心あつて『誠に塚原勝義は天晴れな人物器量骨柄及び才能といひ一方の將として恥しからん若者、志摩は宜い繼者を持つて幸福である』と仰せられ上々の首尾で退出した、此謙信公の側に仕へる四虎、三赤鬼、八龍、日尾仙組などゝいふ豪傑がある、四虎といふのは鐵上野介、安頓、山吉玄蕃頭親章、山村右京亮景宗、青龍寺金龍丸、三赤鬼といふのは鬼小島彌太郎一忠、柳川大膳秀住、齋藤源五郎賴包、八龍といふのは山吉小次郎景國、山本寺宮千代丸、鍋田賀壽丸、山本寺鐵丸、宇野橋千代丸、赤坊主西法院、黑坊主犬年、唐崎左馬介、日尾仙組といふのは直江一兵衞、根津二右衞門、片桐三助、花四助、多井五郎丸、谷六助、和田七兵衞、中條八郎、唐崎九郎三郎、下條十郎丸、黑川彥八郎、谷藤兵衞といひ之等は萬夫不當の豪傑にして越後名代の人々であります此時謙信公が大層小太郎を賞美なされたのを八龍の一人黑坊主犬年が聞いて犬『笑棒め、我ら小太郎が劍術を使ふかしらんが疊の上の水練同樣戰場の役には立たねわ、我々の眼から見れば赤ン坊も同樣だ、何うするか見ろ』と思つて、小太郎勝義御前を立つて、御廊下を歩いて來る處を後ろからツカ〳〵と來て黑坊主犬年が、突然小太郎にムヅと組付いた、越後名代の八龍の中で殊に力自慢の黑坊主犬年に組付かれた事、身動きも出來ない譯だが、乃が小太郎足も止めず靜かに退がつて行く、犬年其處へ押伏せやうとして力を入れたがいけない自分が一緒にズル〳〵と引摺られて行く、一同も此樣子を見て成程業といふものは不思議なものだ犬年に止めることが出來ない、あの工合では何處まで往くか分らないと見て居る中に彼是十二三間往つて立止まつた小太郎『小失禮ながら共許のお力は其れだけでござるか』といつた、犬年癪に障つたから犬『ナニ之れはホンの初めで、本當の力は之れからでござる』と眞赤な顏をして犬年『ムーン』と抱〆めたる途端に、勝義ヤツトと一聲、片膝を突くより早く、犬年の肘手を執つて引搔ぎ、お庭先へドーンと擲げ付けた、犬年自分の力に負けて二三間彼方へ風を切つてプーンと飛んで行くと石燈籠の笠へ頭をゴツンと打付ける黑坊主の頭に大きな瘤が出來たが、石燈籠の笠が三ツに破れて了つた……そんな堅い頭も世の中にないが犬年癪ろいて頭を撫つて居る、之を見て謙信公初め並居る老臣一同思はず手を拍つて感服した、神陰流の玄妙に渡つた小太郎、犬年如きは何んでもない、如何にも天下の豪傑、家中の古老は固より古老の者といへども小太郎の教へを受けよと仰せられ、茲で新たにお屋敷を拜領して家中へ武術を指南することになつた、さて謙信公小太郎の勇才を愛して毎日の如く御側に召させれ其組與を叩く、謙信公早く都へ攻上つて細川山名に力を添へ、權臣三好松永岩成等を滅ぼして義輝公の御身を安んじ奉つらんと思惟して居りましたが未だ武田と兵爭けず、尙尾州に織田信長の勢烈しく仲々油斷ならん處から延引して居る茲に其年も過ぎて永祿八年となり都に一つの騷動起り將軍義輝三讒一黨のために討たれ給ひ謙信義兵を催す件より小太郎之れに力を添へて奸臣を誅伐せんとする尤とも壯烈なるお話と相成ります

今日のおやつはモナカときめて電話かけましよ木村屋へ（京城明治町電話二八七〇）

院長　醫學士　森定吉
（芙蓉醫院改め）
內科　小兒科　森病院
◎入院隨意◎
京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡　電話二六二三番

連絡船上陸客
十四日午後入港壹岐丸一二等客
十四日午前釜山入港高麗丸一二等客
（一等丁名）瓜生音波、同ます、大川知彦、…郎、河野楨、安東敏之、川上常郎、加藤俊作…

…見逢告者には五十錢遊覽券を呈す（但何書何號と明記に限る）▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

五月十七日九星　丙四月八甲子　本命九紫南危大安

▲九紫　自ら望に悖る…▲一白…▲二黑…

演藝案內

京城本町　壽館　電話一〇五〇
浪花節　…一座開演

活動寫眞常設館　有樂館　電話（附上）五九七番
長谷川總督閣下御高覽を賜ふ
學生、軍人は必ず御覽あれ
教育實寫特別公開
歐洲大戰亂怪物鬼自働車…
（米國大使館）…

京城壽町　電話五七八番　壽座
前代未聞のキネオラマ應用
▲活動連鎖劇瀨戶內會一行

京城櫻井町　電話八七三　大正館
▲日活特作…

電話二二三六六七　黄金館
▲活劇『元和三勇士』…ヒーザーの炎…

東京市京橋區　京城本町　電京二二六
特許　縁無眼鏡
金鳳堂

公信株式現物問屋

優秀なる化粧品を撰定して子女に與ふるは父兄の義務なり

■美顔白粉の優秀なる理由に就て或る程度まで製造上の秘密を公開致し候

第一 美顔化粧料製造の設備

(一)桃谷研究試驗所 (二)工場の組織と設備 (三)栽培園 (四)製薬場

△一桃谷研究試驗所

1 設立 大正元年九月

2 所員
所長 薬學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 薬學士 米倉昌達
同 千葉薬學士 小磯勝次郎
同同 薬學士 齋藤銳助
顧問 薬學博士 丹波敬三氏
同 醫學博士 山本淳二氏
(其他技手、助手等)

3 組織
(第一部) 醫學部 皮膚醫學と化粧品との關係に就きて研究する機關 部長 薬學士 醫學士 米倉昌達
(第二部) 原料部 化粧品に使用する各主要原料の性狀等に就き研究し原料の改善進歩を計る機關 部長 理學士 西澤勇志智
(第三部) 創製部 各種化粧品の創製に就き研究する機關 部長 千葉薬學士 小磯勝次郎
(第四部) 製造部 美顔化粧料製造に使用する原料を精密に檢査し製造工程を監督する機關 部長 千葉薬學士 齋藤銳助

4 設備 試驗室四 精煉室一 分析室一 薬品室一 香料室一 天秤室一 標本室一 圖書室一 暗室一 (其他)

5 謹製室 尚別に各宮家御買上品は、特に謹慎の念を以て、研究試驗所階上に謹製室を設け、特撰せる技師技手及び工女を監督し、技師小磯勝次郎謹製の事を擔當す。

△二工場の組織と設備

1 實驗製造部 研究試驗所の檢査に合格したる原料を主任技師監督の下に調合し、最新式の器械にて製造す(人工よりも器械力の方製品の精巧均整を得る事及び生産能率上有利なる事言を俟たず故に可及的器械力を應用す)

2 器械部 可及的人工を省き器械力を應用する方針を以て此部に於て製造に要する各種の器具機械に就き研究製造す。主任 田邊精 高等工業學校出身

3 仕上部 實質を包裝して市場に販賣せらるゝ形態を備へしむるに到る各包裝工程は専ら衛生上の清潔と均整とを期す

△三桃谷栽培園

1 設立 大正六年六月

2 所在 神奈川縣久良岐郡六浦莊村(八景を以て名ある武州金澤)

3 所員 園長 醫學士 薬學士(兼任) 米倉昌達
主任 技師 宮川一

4 目的 香料其他薬品原料を、海外よりの輸入に俟たずして本國に於て製造するに至らん事を期して開設せるものなり。

△四製薬場

1 設立 大正四年七月

2 目的 化粧品の主要原料が輸入に俟ちしを本場に於て製造するに至らん事を期して設置せるもの。既に數種の重要原料は本場に於て製造しつゝあり。

第二 優秀なる理由に關して

右は昨年東京に開かれたる化學工業博覽會への出品に際し、審査上特に公開せる全文を掲げて御参考に供し候

△一原料に就ての研究と注意

1 主要原料の細微と均等
白粉の主要原料として普通市場に販賣するものは、必ずしも分子の細微均等を保し難き場合少からず。如何となれば其製造業者が該原料を製造するに際しては、蒸氣狀態となりて飛散するものを、連積せる數個の容器を以て收拾するに方り、往々緻密なる分子の均等を缺く事あり。一方また製造より發賣に至る諸工程の間に、化粧品の原料としては不適當と認むべき程度のものも時に混在するに至る虞無き能はざるが故に、また必ずしも分子の微細を期し難ければなり。
當試驗所にては此主要原料の製造工程に最も重きを置き、普通市場に販賣するものを用ふる事無く、或る特殊の製造場と特約し、原料の買入より始めて其製造に至る工程の一々を、當所の技師を派して監督し、正確に分子細微均等にして完全と稱し得るものを製造せしめて是を使用しつゝあり。從つて美顔白粉は分子最も細微にして均等なるを得るなり。

2 鉛分及び有害金屬絶無
一般市場に於ける前記主要原料の普通品は前述の如く完全を期し難きものあるが上に、其製造原料に就ても不純品の存する事あるが爲め、白粉に於て衛生上最も忌むべき鉛分及び諸種有害金屬を含有するに至る虞あり。然るに美顔白粉にありては、前述の如き特製品を使用するが故に、斯の如き憂ひ些かも無く、字義通り純無鉛なるは勿論、其他一切の有害金屬質を含有する事絶對に無し。

右 化學工業博覽會に於て、我が美顔白粉が學術的完全なる化粧品として特に、名譽ある一等賞金牌を授領したる事は既に御承知の通りに有之候

3 硫黄分を含有せず
尚また前記主要原料の市場に販賣せらるゝものは、是を漂白するに硫黄を以てするを常とす。從つて幾分の硫黄分を混有するを普通とせり。當所にては研究の結果白粉の中に硫黄分を含むの不可なるを認め、此點に就きて研究の上、硫黄を使用せずして漂白するの法を發見したるが故に、美顔白粉に使用する原料には殆ど硫黄分を含有する事無し。

4 其他の原料に對する注意
其他の諸原料即ちタルク、グリセリン等に就きても、原料の撰定に最も厳密なる檢査、注意、研究を重ねて是れを使用す。タルクの如きも一定の分子の大きさを檢定し(タルクにありては分子の細微は可なりとはいへ、而も餘りに細微に過ぐるものは宜しからず)また特に滑石の粉碎の方法如何が亦白粉の品質に關係あるを認め特殊の檢定法に依りて是れを檢定す。

△二美顔白粉の特長

以上は美顔白粉の製造原料に關して特異なる點を略記せるものなるが、是等特殊の原料に依りて製造せらるゝ美顔白粉の品質上の特異なる點を擧ぐれば略次の如し。

1 被覆力の強大
2 延展性の強大
此二者は、前記原料以外當試驗所の研究に成る特殊成分を含有せしむるに由る。
3 純白なる色澤
4 長時間の色澤保持
5 衛生上絶對無害
前記原料の精選精細及び諸有害金屬質の絶無なるに由る。

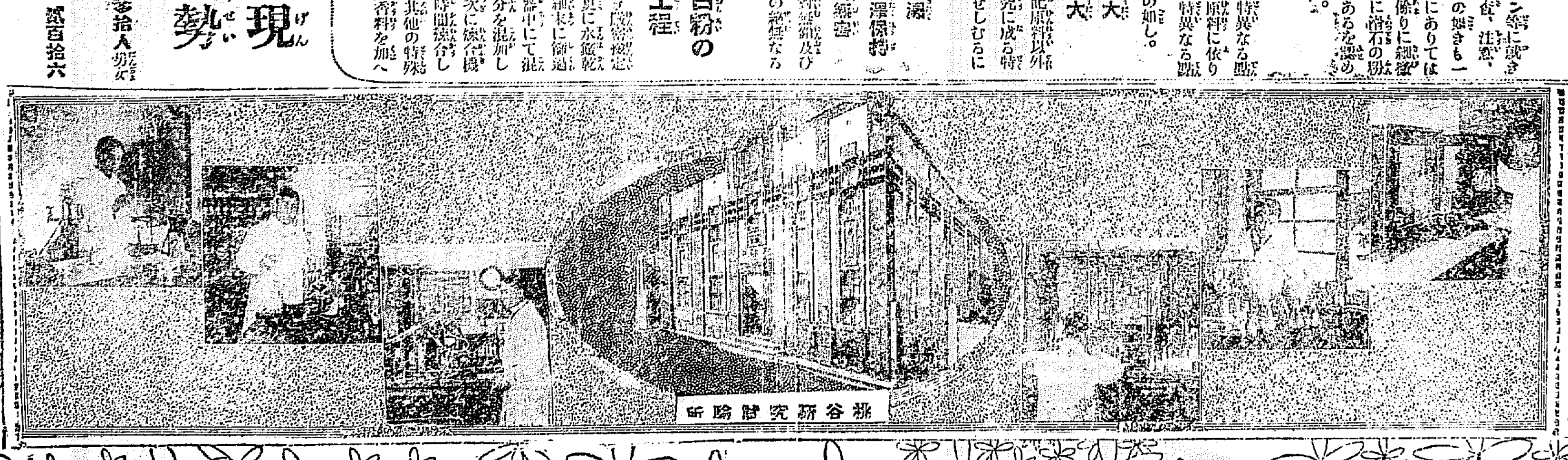
△三美顔白粉の製造工程

先づ前述の如き精選檢定せる諸原料を、更に水簸乾燥したる後、細末に篩過し一定の混合器中にて混攪し、更に水分を混加しつゝ攪拌し、次に練合機に懸けて一定時間練合し此練合塊を練合器中に移し、グリセリン其他の特殊原料を加へて一定稠度となしたる後、芳香料を加へて瓶詰とす。

第三 美顔白粉現在製造狀勢

1 工場從業員 技師、技手、事務員參拾人 男女工五百六拾人

2 製造高 昨大正六年度總額金 貳百拾六萬餘圓


桃谷研究試驗所

第五版
京城日報
十六日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

仁川期米
を採み八錢に散合せり 後場先限一節二十一圓八十錢△中限二節二十一圓八十錢四節八十九錢△先限二十一圓八十錢一錢八十 [illegible]

大阪より
◇事業合同趨勢 財界一般に[illegible]以下も買收し小野金六氏經營の東京[illegible]紡田食料品會社が朝鮮水產會社錦本廿五萬圓を買收し熊本の肥後[illegible]圓を五百萬圓に增加し[illegible]解散し又松山紡績は倉敷紡績と合併契約中近江帆布會社と愛媛紡績[illegible]したるなど事業會社[illegible]の傾向著るしく最近の入報に依れば支那に[illegible]上に近來建築家具等に防水布の需要に依つて需要先範圍頗る擴張せる[illegible]合資會社さへ僅に一箇月四萬五千[illegible]製造高に過ぎず從て相場[illegible]

露西亞の君主政治

京城日報

昨年三月露都革命以來、露國內を擧げて自由平等の空想に醉はされ本來の社會狀態を破壞して、完全なる民主共和政體を樹立せむとしたるに、昨年末頃より風潮一變して、却て君主政體を慕ふ[illegible]過日ペトログラードに於て復辟運動を開始するものあり、其後の消息は不明なれども、他の獨立各地方は則ち漸次君主制の舊型に復するを力めて至らざるなし。

露都革命後、先づ獨立を宣言したるを芬蘭と爲す、芬蘭人民は本來獨立自主を好み、其政治的狀態も他の露國民に比して全く其科を異にするものあり、露西亞にして若し其君主制を改めたらば、芬蘭は眞先きに民主共和政治を實施すべしとは何人も期待する所なりしに、案外にも事實は其正反對にして、芬蘭人民先づ君主制を要求し、今や其憲法成り、獨逸皇太子妃の同胞たるメクレンブルヒ・シユヴエリン公其君位に即くべしと云ふ、又小露西亞人より成るところのウクラインは、當初共和政治を創設したれども、統治其道を得ず、最近クーデター行はれスコロパドスキー將軍執政官となり、是れまで革命に依りて施設したる一切の法令制度を廢止して君主制の舊型を回復しつゝあり、リガ其他波羅的沿岸各州の獨逸帝國編入を求めたる次第は、既に述ぶる所の如くにして、乃ち黑海より波羅的海を通じ、芬蘭に至る面積四千三百五十方哩、人口五千五百萬を容るゝの地は、悉く民主共和制を排して、君主制を取るものと謂ふを妨げず、此上若しペトログラードの復辟運動其効を奏するあらむか、歐羅巴露西亞は君主制に復りたりと云ふを得べき也。

露都革命以來、僅かに一箇年を經過したるに過ぎざれども、其間の政情幾變遷を閱したり、當初露帝ニコラス二世を廢したる革命政治家は其志共和政體にあらずして、皇太子又は皇太弟を戴いて新たなる君主制を開始するを企てたるも、其事成らずして遂に假政府の共和政治を見る、假政府は[illegible]國の要務を處理するの傍、漸次立憲政治を確立する方針なりしに、中道にして過激派の爲めに倒さる過激派政府は一面に獨墺と和を講じて戰爭を止め、他の一面には現在の社會組織を打破し、資本制を廢止し、共產的社會主義を實行す[illegible]の理由と爲す、[illegible]の眼中には敵も味方もなし、[illegible]自己の主義を宣傳して今日の社會狀態を變更するにあり

北米合衆國大統領ウイルソン氏は、不思議にも此過激派の主義主張に贊成を表し、莫斯科に於ける勞農大會に祝電を送りて、推獎する所ありたれども、外國に對する一切の債務を廢除し、共產主義を世界に宣傳するとは、果して米國民の贊成を表する所なりや否や疑はしく、過激派自身も近頃は其非を悟りて、漸次其主義主張を變更しつゝありと云ふ、畢竟革命當時、露人齊しく自由平等の夢に耽りたれども、天下無政府狀態より悲慘なるはなく、無政府狀態の下には人々其生命身體財產營業を有つ能はず、恢復せる自由平等なるものあるを得むや、露人今や此悲慘の境遇より離脫するを思ふに是れ切なり、其思潮亦自ら此に一變せざるべからず。

支那文學の變遷（四）

今關天彭氏談

詞賦の流行

詞賦は漢初から流行の徵候が見え武帝の時に至つてはその流行の頂點に達しました。漢初は何分二三百年間打續いた兵亂の後を受けたのであるから文學の方面は下火になつて居つたのであるが馬の上で天下を取つた漢の高祖も馬の上では天下を治むることは出來ない、文學を尊重せねばならぬ位の事は知つて居たのであります。で三代目の文帝四代目の景帝の時となるに及んで、文學は追々復興して參つた。そこで賈誼や枚乘等が出ましたが、これ等の人は皆屈原の離騷を眞似て居ります。殊に枚乘の方は離騷に一工夫を凝らして、漢代の賦類の緒を開いたのである五代目の武帝となると、華美なことを好んだ爲に文學も亦其の影響を受けて[illegible]なものが流行して來るやうになつた。司馬相如はこの時に上林の賦、子虛の賦を作りました。後世之を以て賦類の上乘なるものとして居るのであります。當時司馬相如の他に東方朔や、枚皐の如き人が出て居るが、司馬相如に匹敵するものではありませぬ。以上は賦類即ち韻文の方でありますが、散文の方は怎うかと云ふと、これ亦相當に人材が輩出して居る。即ち武帝以前に在つては、賈誼の治安策、又は武帝の時の董仲舒の天人策といふのがありまして、まことに立派なもので後世から尊ばれて居るのであります。殊に散文に在つて忘れることの出來ぬのは、武帝の時に司馬遷が出て史記を作つたことであります。史記は本紀、列傳、世家、八書、十表といふ部類を立て、恰度百三十篇程あつて、支那に於ける紀傳體歷史の元祖であるが、體裁に就て謂ふと、本記列傳は書經若は國語より、八表は世本といふ書物より、十書は書經の中の禹貢などより思ひ落いてかゝる體裁を創案したのでありませうが、その內容たる敍事の文章に至つては誠に美事なものであつて、敍事文として無二無二のものであります先程經書の編撰の時に鳥渡御話をしようとして忘れましたが、孔子の作られた春秋は、簡約に過ぎて難解に陷る嫌ひがあるので、左丘明といふ人が左傳を作り、當時の史實に據つて春秋の主意を明かにした、其文章が非常に善い、史記の文章はこの左傳の文章と並び稱せられるのであるから、因て以て史記の散文界の位置が判るのであります。この時代に於ける詩は怎うであるかと云ふと、以前とは多少變つて、今度は五言の詩が流行して來た。五言の詩は四言や七言の間から生れたもので、一般に枚乘が作り始めたと謂はれて居るのであります。五言の詩で有名なのは蘇武が匈奴に使ひして囚はれの身となり、苦節十九年、漸くにして漢へ還る時に當つて、舊友の李陵と應酬した詩がありますが、これが後世五言の詩の模範となつて居ります。また樂府といふのが流行して來た。これは詞歌を掌つて居る官衙の名であるが、そこには當時有名の詩人文人が相集つて詩歌を作るのであつて、これから一轉して樂府體といふ體が出來たのである。後世行はるゝ詞曲はこれから出たのであります。

本紙定價 一部金五錢 一ケ月金壹圓[illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話 [illegible]

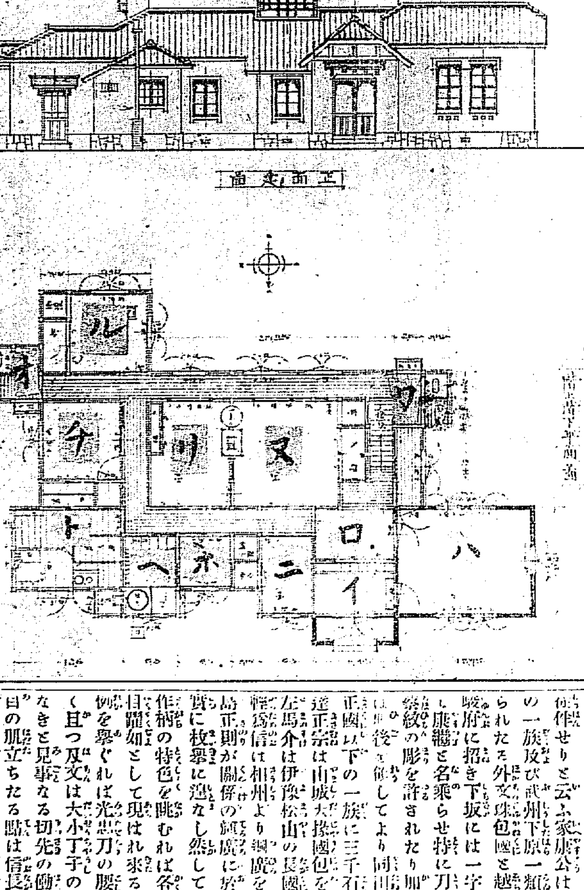
朝鮮の書畫に就て（七）

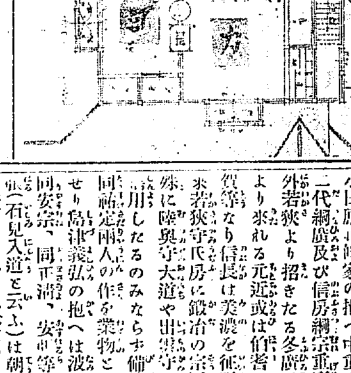
鮎貝房之進氏談

晉の顧愷之以下吳道子唐に於て王維、宋に於て郭忠恕、徽宗、李公麟、蘇東坡、文與可、郭熙、崔慤、馬遠、元に於て趙孟頫、鮮于樞、王公儼、謝元陳、龔開、劉伯起、李弼、喬仲義、劉道權、顏輝、張彥甫、顧迎卿、張子華、羅稚川、周朗、任賢能、雪窓、李衎、朱德潤、王冕、盛懋等多數の遺跡が藏されてあつたのであります。而してこの安平大君と時を同じうして李朝の畫祖ともいふべき姜希顏、安堅の二名手が輩出したのも偶然ではないのである。現にこの二人は當時安平大君に從遊し、其の妙所を要得せることは畫記中にも記してある、二人の遺跡は總督府及李王職の兩博物館にも所藏されてあるが其畫を見ると一點の朝鮮臭味がなく海に中に挿入するも毫も恥づかしからぬものである。畢竟これは安平大君に私淑して夫等の書畫を見て常に研究したからである。このことは色々な隨筆に出て居る。唯惜むらくはこの地に於て恭愍王の遺跡同樣、大幅の畫を斷片的に切つて終つて畫帖に貼つたものがあるばかりで、完全なる大作物に接することの出來ないのは遺憾千萬である。これも必らず永い間には諸君の御目に留ることゝ思ひますから、御留意を希望します。これ等の人の作は日本に於ても大分尊ばれて居て、現に姜希顏安堅の山水畫と、崔涇の人物畫及び李嵓の花鳥などは日本に傳はつて夫れ〳〵批評もありますが、崔涇の人物畫には劉松年によく似て元末に見ゆと評し李嵓の書いた花鳥畫には學毛益最佳と評して居つて却々當時の畫工の描いた畫といふものは實に立派なものであるが、これは畢竟安平大君の功績であつて支那の實物を見て深く研究したからである。次は古畫の御話で御座いますが時間が許しませぬから、これは略して朝鮮の南畫のことに就て御話致します。朝鮮では日本の所謂南畫といふものを描き始めたのは恰度英祖朝頃からである。英祖朝といふと支那の乾隆、日本の寶曆明和頃に當ります。上代にあつて印度支那の文明が東漸致しまする順序は、朝鮮より怎うしても百年以上二百年日本は後れて居るにも拘らず、この元代の南畫といふものを輸入したのが同時代であるは、畢竟るに交通の便不便にありたる[illegible]も日本で始めて南畫を研究したのは彭百川、祇園南海、柳里恭、大雅堂等で、これ等は皆寶曆明和間の人であつて、矢張り乾隆時代に南畫といふものが、朝鮮と同時代に入つて居る、然らば朝鮮で南畫を畫き始めたのは誰れかといふと、姜世晃、鄭敾、沈師正等である。鄭敾、謙齋の畫を南畫といふのは、或は語弊があるかも知れませぬが、元代の四大家の筆致とは稍違つて多少北派を帶びて居る。處が其の弟子である處の沈師正に至つて始めてこれを完成しまして、全く元の四大家の遺法を以て描いた沈師正といふ者は、先づ朝鮮の南畫としては是非記憶して置かねばならぬものであります。

懸賞募集 防寒建築二等當選案

京城 松本松壽氏案





略説明 建坪階下四十坪二合五勺階上十一坪二合五勺應接室は玄關右側南北西に面し洋式とし取次の間は各室への連絡を考へ女中室は玄關左側にあれば來客取次に便なり居間は取次の間に接し南向に位置する茶の間は主婦の居間且家族の食堂として各室よりの中間に在り且臺所に接近す小供室の臺所に隣するは喧騷をなすも妨げ無き位置に造けり老人室は本家より突出南面せば最好位置にあり階段は取次の間を經て昇降し階上客室及び書齋は通風光線を考ふ防寒は木材壁に接する部分は深二分以上とし漆喰の塗込み容隙を防ぐ床は二重床板間には建築紙を縫釘打にす天井は棹縁は二箇所苑稻子打とし板上へは砂漆喰五分厚塗窓下は建築紙を床板へ縫釘打張建具は外と廻り引違の分は柱當り深二分以上建付彫召合堅框埴付に缺き合せ容隙を防ぎ各當り海綿絲糊付縫釘付とし開戸の部分も前記に準ず引分障子は枠際にて前記の召合せ裝置とし羅紗張とし暖房裝置は應接室はストーブとなし居間茶の間の界及二階客室書齋の界にはペーチカを用ひ老人室には爐燵を切る

（イ）玄關「土間叩き」（ロ）取次の間三疊（ハ）應接間十疊（ニ）女中室三疊（ホ）化裝室（ヘ）浴室（ト）臺所（チ）小供室四疊半（リ）茶の間六疊（ヌ）居間八疊（ル）老人室四疊半（ヲ）便所（ワ）上便所（カ）二階客間八疊（ヨ）同書齋六疊

愛劍趣味（十）

片岡鶴泉

小田原北條家の抱へ中重もなるは二代綱廣及び信房綱宗重廣康光の外若狹より招きたる多廣又た三原より來れる元近或は伯耆の住人廣賀等なり信長は美濃を征服して以來若狹守氏房に鍛冶の宗匠を命じ殊に陸奧守大道や出羽守氏貞等を重用したるのみならず備前の清光同祐定兩人の作を業物として愛重せり島津義弘の抱へは波平安時、同安宗、同正清、安田等にして安貞（石見入道と云ふ）は朝鮮出陣に作せりと云ふ家康公は島田義助の一族及び武州下原一類を扶持せられたる外文珠包國と越前下坂を駿府に招き下坂には一字を賜はつて康繼と名乘らせ特に刀銘の上に葵紋の彫を許されたり加藤清正公は肥後を領してより同田貫上野介正國以下の一族に三千石を與へ伊達正宗は山城大掾國包を招き肥前左馬介は伊豫松山の長國を愛し津輕爲信は相州より綱廣を招聘し福島正則が關係の綱廣に於ける如く實に枚擧に遑なし然して以上各刀作新の特色を眺むれば各英雄の面目躍如として現はれ來る其の二三例を擧ぐれば光忠刀の腰反踏張強く且つ反文は大小丁子の變化極りなきと見事なる切先の働きや大木の肌立ちたる點は信長の氣分漲ぎとも觀るべく又た同田貫刀の市儈く厚重にして頑丈なる直刃と地及ともに質實の鍛へは以て清正公の氣分を現し最も面白きは紀州の役清正公は『切れざるに於ては代料下渡さざる物なり』との註文書きにて千刀を造らせたることは頗る痛快なるも之を持て撫切りせられたる韓人こそ嘸迷惑なりしならん次ぎに初代康繼の作は凡て功者にて拔け目なく且つ鋭利なる點は直ちに家康の雅量を想像せしむ所謂愛刀趣味の源泉は此の點より湧き出るものにあらずして何ぞ

法人登記
市邊里地方金融組合（更正）
錯誤ニ因リ監事梁柱東ノ住所ヲ金川郡外面安鳳里五百九拾參番地ト監事柳哲熙ノ住所ヲ同郡同面文修里武百八拾番地ト更正ス
大正七年五月拾參日登記
海州地方法院金川出張所

商業登記
明城電氣株式會社監査役金得炳、日井水城、孔聖初ハ任期滿了ノ處大正七年四月貳拾七日重任シタリ
右大正七年五月拾壹日登記
京城地方法院開城支廳

◎**社員募集廣告**
月收五十圓以上何人も出來得る事
希望者は履歷書携帶正午迄來談
日本勸業合資會社京城支店

德田商會 永樂町二の六〇 電話二三三五番

新荷着
▲本セル 金拾七圓五十錢
錦紗縮緬兵兒帶 金九圓八十五錢
▲單羽折地（男物） 新柄 自金拾七圓八十錢 至金廿五圓
▲絽男羽折（縞無地） 新柄 一、金拾壹圓五十錢 二、金拾四圓五十錢 三、金拾八圓五十錢
▲綿セル男女物 柄御好み次第 金壹圓九十八錢 金貳圓四十五錢 [illegible]
◎御注文の際は御年齡及男女の別柄向き御好み及び價格御申越し下され候は必ず適當の柄見計ひ御郵送可申上候
織元特約販賣 京城太平町一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇九・構内十八番 振替京城三〇〇番

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋 香月商店
（京城府明治町二丁目四八 振替口座京城四八四六番）
◎尾羽毛皮各種薯荷

最新刊
書名 著者名 定價
◎支那の眞相 法學士大河平隆光著 定價一、七〇
日本債權各論 鳩山秀夫 一、五〇
債權各論分冊第一 末弘嚴太郎 一、九〇
金剛山植物調査書 總督府 四、〇〇
生の花 長與善郎 一、四〇
誰にも出來る最新寫眞術 上田竹翁 九〇
◎縮刷世間學 村上浪六著 九〇
婦人問題より見たる女、大學、批評 一條忠衛 一、〇〇
[illegible] 作文大觀 [illegible] 一、〇〇
これこそ本當の商賣 今野 [illegible]
[illegible] 早く取る法 [illegible]
[illegible] 自宅療法 [illegible]
死の蔭 [illegible]
全國中等教員[illegible]數學問題[illegible]
象の平内 [illegible]
飛行少年お伽噺 [illegible]
◎算術自由自在 金谷一著 定價四五
大阪屋號 京城本町電話六八四、二〇八六 振替京城二五七三

勸業債券高價買入
貯蓄は最も手輕なる月賦賣
一ノ組 六十八回 六十七回 拾圓券初回 [illegible]
二ノ組 六十七回 六十五回 四拾圓券初回 [illegible]
三ノ組 六十四回 五十八回 [illegible]
二千圓の籤 毎月くじの樂める組合
支部出張所代理店增設
全國樞要の都市郡邑に[illegible]有志者は[illegible]
大日本勸業合資會社
東京丸の内有樂町一の三 振替口座東京壹壹七六六

大町桂月先生會心の名著
最新刊 **筆供養**
袖珍美本三百卅頁△定價壹圓拾五錢 郵税六錢
哲人大町桂月先生は曾て愛國の士也、世々慨して時に感じては評論あり、沈思默考する時感想文成る、孤蹤飄然たる時旅行記成る、何れも國民の必讀すべき者なり、靑年の爲めに執筆せらる、[illegible]大帝國を双肩に擔ふ可き靑年は本書に來つて自己の修養を[illegible]先生をして筆供養の題言を爲さしむる勿れ
第三版 冷汗記 袖珍美本五拾五錢
第十版 日本男兒論 袖珍美本五拾五錢
第三版 繪入訓話 袖珍美本五拾五錢
十二版 新學生訓 袖珍美本五拾五錢
十七版 すゞりの水 袖珍美本五拾五錢
十四版 筆のすさび 袖珍美本五拾五錢
（郵税各卷六錢宛）
東京神田 振替[illegible] 富山房

五分利國庫債券（ろ號）募集廣告
今回大藏省令第十九號ヲ以テ五分利國庫債券（ろ號）募集相成候付應募御希望ノ向ハ左ノ各項御承知ノ上當店ヘ御申込相成度候
一 募集金額 五千萬圓
二 利率 年五分
三 利子仕拂期 毎年六月一日及十二月一日
四 初期利子 大正七年十二月一日ニ於テ額面百圓ニ付金二圓四十五錢ノ割ヲ以テ仕拂ヲ爲ス
五 償還期 大正十二年六月一日マデ
六 申込期間 五月二十日ヨリ同二十二日迄 但シ期日前ト雖モ便宜御申込ニ應ズ又申込期間中ト雖モ時宜ニ依リ締切ルコトアルベシ
七 應募保證金 申込高百圓ニ付金五圓ノ割ヲ以テ申込ノ際拂込ノコト 但シ官廳及公共團體ノ申込ニハ保證金ヲ要セズ
八 發行價格 額面百圓ニ付金九拾五圓二拾五錢ノ一定價格トス
九 拂込期日及金額左ノ通リ 第一期 本年五月廿七日 募入高百圓ニ付金五圓（保證金振換） 第二期 同年六月十日 同 金九十圓二十五錢 但官廳及公共團體ノ應募ニ係ル第一期拂込金ハ第二期ニ於テ拂込ノコト
十 拂込延滯日步 拂込金百圓ニ付金四錢
十一 募入方法 應募超過ノ場合ハ適宜募入額ヲ定ム
十二 發行スベキ本證券ノ券面種類左ノ如シ 二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓
大正七年五月
朝鮮銀行 日本銀行京城代理店

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編 改定增補第四版 定價一圓 郵税八錢
朝鮮不動產商業 登記申請書式心得
本書は[illegible]
不動產登記の部 [illegible]
商業登記の部 [illegible]
發行所 京城日報代理部
取次所 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂

東清鐵道從業員形勢不穩

東清鐵道從業員中の過激派は此間東部線にある鐵道中學校長たる過激派員がセミヨノフの手に依りて殺されたるに對しホルワット長官の處置其當を得ずとの口實の下に哈爾賓にある過激派委員の煽動的決議に依り十六日死者の葬儀執行するため十五日夜十二時より二十五時間全線の同盟罷工を爲す事に決し形勢不穩なるより取敢ず東鐵營業部長は長春驛長を訪ひ非公式に其旨を述べて引取りたり十五日午後二時より南部支線の過激派從事員は寛城子に會合し何事か協議する旨各所に掲示し居れりホルワット長官は鎭撫に努め居るも効果無かる可しと(長春特電)

獨逸軍露官民銃殺

芬蘭白衞軍及び獨逸軍の爲めに占領せられたるウタホウルデンにては官吏及び市民の銃殺さるゝもの多く老幼婦女の拘禁さるゝもの尠からずペトログラードは獨軍の支配下に在り(哈爾賓特電)

サガレン州勞働者渡航制限

サガレン州勞兵會は同州に於ける勞力の需要減退し且つ食糧缺乏せる爲め今後多數の勞働者渡來せば饑餓に陷る虞れありとし勞働者渡航制限方を極東勞兵會に請求し來れり(浦鹽電報)

齊多過激派の狼狽

齊多の過激派はセミヨノフ進擊を開くや狼狽一方ならず勞兵會は同地が戰爭狀態にあるを宣言し午後九時以後は燈火を滅すべき事を命じセ軍に講和談判を開始すべき事を決議し幹部はイルクックに退却の準備を爲し居れり(哈爾賓電報)

通商條約廢棄計畫

英國下院に於て十三日ボーナー氏は述べて曰く戰後原料品缺乏の虞れあり且つ我が國及び聯合國の必需品を供給する必要上英國政府は最惠國に關する一般條項を含む總ての通商條約を廢棄することを計畫し佛國政府は同樣に承諾せり(倫敦電報)

段氏赴日記者團引見

段總理は十四日赴日記者團一行を引見し彼等に對する日本朝野の歡待を喜び日本に於ける支那留學生の無意味なる行動を歎じたる後日支協商事項が世間傳ふる處と異り支那の利益となる事なれば諸君に於ても此の意を體し誤解を解くに盡力ありたき旨述べたりと(北京特電)

外米價格 不日賣出開始

農商務省は既に在庫外米六十萬石に達せるを以て近く賣出を開始す可く十四日左の如く販賣價格を指定せり(東京特電)

▲西貢一等白米 神戶渡十九圓二十五錢東京渡十九圓七十五錢▲同二等白米 神戶渡十八圓七十五錢東京渡十九圓二十五錢▲東京產一等白米 神戶渡十九圓五十錢東京渡二十圓▲同二等白米 同▲同三等白米 神戶渡十八圓東京渡十八圓五十錢

留學生監督

前司法總長江庸氏は日本留學生監督たることを承諾せり不日任命發表さるべし(北京特電)

外米賣出期發表

農商務省は十五日午後三時外米賣出期日を五月二十日よりと發表せり(東京特電)

米價低落か

十五日期米前場二十五圓六錢の安値止めを現はし投物續出更に二十九圓臺を割るべき形勢なるが之と共に市內小賣相場も更に十六日より各等米五、六十錢方の値下げを爲すべし(東京特電)

地方長官會議

地方長官會議は十五日午前九時より內務省に開會水野內相より訓示演說あり午後指示事項に就き協議せり(東京特電)

支那南北乖離

[illegible]國會問題[illegible]以て公布せられたる國會議員選擧期日たる六月二十日(參議院)及び[illegible]命せらるべしと雖も根本問題とし[illegible]の代表者は適宜在[illegible]者中より任[illegible]妥協問題の前途[illegible]議を逐ひて暗の意氣なるが如し[illegible]廣東、四川、湖南[illegible]右召集に選擧する能はず此點は再び論理の[illegible]提言を爲さしめつゝあり我が林公使の如きも南遊を名とし[illegible]

瑞典公使歸國

瑞典公使ワーレンベング氏は十七日東京出發西伯利亞經由歸國すべしと(東京特電)

陸大見學團

滿洲戰跡見學の途にある陸軍大學生六十五名は淨法寺中將引率の下に十五日午後一時來吉市街を一巡し同二時半長春に迎へり官民の送迎多く特に支那側にては乘馬及び馬車を提供して歡待に努めたり(吉林特電)

議員視察團動靜

議員視察團一行は十四日朝北陵を見物し次で總領事館城內滿鐵公所を觀、張督軍の招宴に臨み午後は忠魂碑に參拜し醫學堂を參觀し夜は奉天官民の歡迎會に臨み十五日午前九時三十分の北行列車にて出發したり因に一行は旅程を變更し二十一日朝吉林を發し二十二日朝奉天著直に北京へ向ふべし(奉天特電)

宇佐美長官動靜

宇佐美朝鮮總督府內務部長官は十五日午後三時寺內首相を官邸に訪問せり(東京特電)

遞信事業 七年度施設計畫

某遞信當局者談

通信事業の施設に關し大正七年度中に於て新に遂行せむとする計畫事項中主要なるものを擧ぐれば如左

▲郵務の改善 に就ては通信力の比較的多き地點十九箇所を選定して郵便所を新設し又通信力の增進に伴ひ之に適應せむが爲京城元山間及び大田木浦間等の鐵道郵便専用室を擴張するの外大邱浦項間輕便鐵道の延長開通に伴ふ鐵道遞送の開始隣接地方相互間にして直通遞送線路なく迂回甚しき區間を選定し陸路遞送線路を開始せむとす其の他市內の發展顯著なる地の集配區劃に增區改善を加へ又市外地にして三日目一回の集配箇所、地況特に優良なる箇所百局所以上を選定して集配上回數を增加し或は其の集配郵便物の增加に伴ひ集配上困難なりと認めたる向に對し集配區劃又は集配日數の改正を加へる方針也

▲電信の擴張 に就ては郵便所所在地にして島嶼以外の箇所に就ては既に大正五年度迄に全部其の施設を了したるを以て大正七年度に於ては地況優良にして將來發展の見込ある郵便所設置豫定地約十箇所を選定し之に電信事務を開始(此電線延長里程約十三里)し又在來電信回線中通信輻輳の爲救濟を要する區間京城平山外六區間に電信線延長約四十八里を增加し又電信取扱所は鐵道線路延長等に伴ひ約五箇所を增設すべし

▲電話增設 に就ては各地事業の勃興及び產業發展に伴ひ市況亦好況を來たし從て電話加入者頗る增加の趨勢あるを以て京城、平壤、清津、釜山、鎭南浦、會寧、群山、羅南、咸興、大邱及び大田等の各局に約三百餘名の新規加入者を收容し又在來電話回線中通話輻輳の爲救濟を要する馬山晉州間外一區間に延長約二十八里及び豫備線の金化華川間外一區間に延長約十七里の各市外電話線を新增設せむとする外在來線又は大正七年度新增設線を利用し必要なる區間に市外通話を開始する事となり居れり

▲郵便爲替貯金 に就ては京城府の府公金及び京城學校組合賦課金の收納方に對し利便を圖らむ爲郵便振替貯金特別取扱規則を制定し右賦課金收納の便法を開始すべし

鐵道貨客運賃引上

旅客賃金は七月十六日より貨物運賃は九月一日より實施す

鐵道院にては十五日午後四時鐵道貨客の運賃引上げを實施する旨發表せり

▲引上の理由 本年度鐵道事業費は昨年豫算編成當時物價勞銀の騰貴に對し相當額を見込置きたるも其後之等の騰貴は平均約二倍半に達し殊に石炭の如きは戰前に比し約三倍鐵材の如き四五倍に達し居れり從つて本年度事業費豫算に約三割即ち三千萬圓の不足を生ずるに至るべきを以て此の缺陷を補はん爲め左の賃金改正を行はんとす

▲引上の割合 三等旅客賃金を五十哩迄二錢、百哩迄一錢六厘、二百哩迄一錢三厘、三百哩迄一錢、三百哩以上八厘とし二等は三等の七割五分增、一等は三等の二十割七分五厘增とし、七月十六日より施行す而して乘船賃金、小手荷物賃金其他急行券、寢臺券等各種料金も略是れに準じて引上を爲す豫定にして是等引上に依る增收額は總體を通じ約二割五分に該當す

▲貨物の運賃 貨物運賃は大體現行賃率を二割方引上ぐると共に山陽線の特別なる一般運賃及び通常噸扱運賃は是れを廢止する方針にて九月一日より實施す、但し左記貨物貸切扱の運賃は當分現行の儘据置く(東京特電)

米、麥、食鹽、野菜、味噌、醬油、肥料、薪炭及び木炭、鰮魚、干魚、鮮魚、新聞紙卷取紙、國定教科書

議員視察團感想談(三)

所感二題 森田茂氏談(憲政)

森田氏は、少し腹目を痛めたと云つて顯著の途を辿へつゝ語る 京城視察中、取り立てゝ是れはと云ふ程に感じたことが二つある一つは幼年囚に國語の教授をして居たことだ、外國にも例が無いではないが、當局の注意が

▼斯くも周到 であることは感服に値する、今一つは中央試驗所の研究振りだ、總督府が御自慢の一つだと見て新來のお客さんは大概彼處へ案內されるらしいが、僅か許りの經費で成績を擧げて居るのは感心だ、木綿を何うやらして麻の代用品を製るなどは頗る妙だ、內地の資本家は此事を知らないのだらうか、試驗所ではパテントは得て居ないと云ふことであつたが、資本家は其許可を受けて工場でも建てると可い

如是我觀 大口喜六氏談(國民)

吾輩は數年前、一度朝鮮に來たことがあるが今度見ると京釜沿線の風物が餘程內地に似て來た樣に思はれる、鮮人部落の內に同じ草葺きながら窓を大きく開け、柱を角に削つた日本風の家屋を、處々に見かけたのは愉快であつた

▼居は氣を移す といふのは、擲所を轉ずるの意味ばかりでは無い、薄暗い室內に坐つて居れば自ら陰氣に成る、鮮人家屋に住めば氣風も亦鮮人化するものだ鮮人を日本風の家屋に住ましむれば矢張り日本人の氣質に似通つて來るに相違ない、何故かといふ理由は之れを略して、家屋と、住む人の氣質とは斯る關係が有るものと承認して頂きたい、古代建築の研究に依りて、文化の程度から時代の風俗まで闡明されるのは之が爲めである、處で今回京城に於ける代表的の朝鮮建物を觀たが

▼何れも一軒 の上は角、下は丸木を使つてある、此は奈良の唐招提寺以前の建築物と同樣だ、が、年代の新らしい程、段々墮落して、裝飾模樣は寶相華の一點張り、大院君の建てた景福宮などに至つては、必要なる造作を拔いて居る割り見た樣なもので濟してあるものもある、然るに鴨綠江を渡つて滿洲に入ると、年代を遂うて建築術進步の跡が歷々看取されるさうだ、朝鮮で何うして之を學ば無かつたのだらう、蓋し朝鮮人は他國の文明を咀嚼して我物とする能力が乏しいのではあるまいか、處で日本人は他の文明を取つて我ものとすることは得意だが、其の代りに我が

▼文明を他に 移植することは下手だ、他の文明を咀嚼する能力の乏しい樣に思はれる鮮人を我が文明を移植することの下手な日本人が同化しようとするには、其間多大の困難が伴ふ譯だ、吾輩は內鮮人同化は教育の力に依るべきは勿論だが、家屋の構造も之と尋常ならざる關係を有するものであることを、一般に注意して貰ひたいのである

正米下澁 前途安見込み

外米管理令の運用を主とし最近迄講和提議等の材料は內地

▲期米界を銷沈 せしめ從つて仁川期米も軟調を續け五月上旬の期米先限の高値二十三圓二十錢を稱したるに比すれば十五日の安値二十一圓七十八錢は一圓四十二錢の暴落を告げたるが一方正米界を如何と見るに十五日日本種改良は二十二圓九十錢鮮種二十二圓四十錢の値を持し之れを上旬の最高値に比するも約三十錢方の低落に過ぎず乃ち期米の低落の急なるより見れば正米は甚しく

▲下澁り の觀あり蓋しそは出廻不足等を原因とし居れる如きも期米の昂騰する際は正米の引上げを音の響きに應ずる如く寄先を越して行ふに拘はらずその低落の際は殆んど無關せずの態なるは多少非議の餘地を見出さずやとの說も一部に唱へられつゝあり雖內地に於ける外米の賣下げは愈々開始されんとしつゝあると降雨順調にして植附の困難なかるべしとの想定と麥作の豐收見込みは內地期米を益低落せしめつゝあるに付

▲朝鮮正米 の頑强なる不動相場も餘儀なく引下げをなさざるを得ざるべく目先は軟調に傾きつゝあり

鮮銀東京支店移轉

朝鮮銀行東京支店は來る十九日有樂町二丁目の假營業所に移轉する由

金久保少將動靜

步兵第四十旅團長金久保少將は松川軍司令官檢閱の爲め十三日午後四時九分大邱驛著列車にて來邱泉屋旅館に投宿十四十五の兩日大邱步兵第八十聯隊檢閱を終へ十六日午後一時二十三分松川軍司令官に隨行大田へ向け出發の筈なり(大邱)

賀田氏の出版

永登浦朝鮮皮革會社々長賀田直治氏は『獨逸產業並に商權擴張に關する研究』並に『牛畜の繁殖取引並に利用に關する趨勢』の二書を刊行し最近關係方面に頒ちたるが兩書共に有益なり

國友警視出張

警務總監部警務課長國友警視は二十七日より東京に於て開會さる可き府縣警察部長會議出席の爲め十三日出張せり

人事消息

▲田島勝次郞氏(代議士)十五日朝入京巴城館へ
▲鈴木茂一氏(大倉組社員)十五日夜入京天眞樓へ
▲林繁藏氏、古賀作治氏 十五日夜退京

白描百種

米國の農務省では戰爭以來文明國たると野蠻國たるとを問はず世界各方面に菜採を派遣して居る▲菜採とは字の如き野菜採偵で即ち戰時の食料問題を解決するの一端であるは無論▲之が結果何國のものでも滋養分の多い野菜は之を米國に移植して我物に仕樣と云ふ計畫である▲其調査によると野菜の最も豐富で且つ最も良きものを有して居るのは東洋諸國であるが殊に日本が其最たるものとせられて居る▲第一に賞揚せられて居るのが櫻島大根で其報告に曰く▲先づ野球の毬の太さで長く純白で且肉の確りして居る大根を想像せよ▲之を切ると林檎を切つた樣な肉で之を嚙ると米國の春蒔大根と同樣な得も云はれぬ香がする云々▲尚は櫻島大根一本あれば四人分の御馳走が出來秋に蒔くと翌夏食はれ春に蒔くと秋には收穫が出來ると說明してある▲次に茄子、韮、胡蘿、甜瓜、豌豆等に對しても嘖々たる好評で▲獨活はアスパラガスの一種で南北アメリカに亙り何處にも生はヴアーヂニアでは長さ六尺のものも出來る▲其から調味方法をも丁寧に說明して次には天王寺蕪を盛に賞揚したものだ▲兎に角米國の遣き處は敬服に値するが日本でも菜採に著手し國民的食料の研究を始むると可い▲殊に朝鮮などでは大に可なりと思ふ

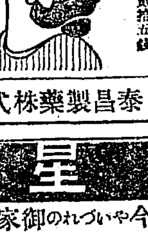
群山金融狀況

客月に於ける群山鮮銀支店の調査に係る同[illegible]口の受渡あるのみに過ぎず只一部鮮人間の先高を豫想し延取引にて相當思惑的買付ありたると京元地[illegible]して一方移入側は地方購買力の進に促され夏物仕入等に相當資[illegible]の需要を惹起し小繁の狀態を[illegible]

ロカ式 消毒用 養蠶用 園藝用 噴霧器 各種
發賣元 大阪 路加商會
特約店 京城勸農園 京城本町三丁目電話七〇四番
山岸天佑堂 京城南大門通五丁目 電話一〇六番
詳細はカタログにて

櫻印 ぬいめなしかや
本濱蚊帳、麻布
疊表、新柄 座蒲團
右廉價ニ販賣仕候
營業ノ栞は御一報次第送呈仕候
東京日本橋區通四丁目
近江屋 西川甚五郎
電話 本局特長 一三二一番 三三二番 本局長 二一四四番 振替口座 東京 四九九二番

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記へ移轉專ら重石水鉛の買鑛に從事仕候間多少に不拘御申込被下度候
京城永樂町二丁目六(三)(朝鮮農業株式會社跡)
ジョージ、アール、アーレン商會
電話二九三八番

一番よく効く目薬は
アドラ

唯一つ
アドラ目薬は高峯博士發見の最高貴薬アドリナリンを主薬とす。全國薬店にあり
定價 拾錢 貳拾五錢
泰昌製藥株式會社

資本金壹百萬圓
京城 株式會社 漢湖農工銀行
支配人 遠山熙
不動產低當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店 開城、春川、大田、江景、公州
所在地 清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

星印ソース
今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
本品は其品質に於てソース界の明星なり
全國到る處の食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

……選擧法の改善せらるゝ所なく過般の……口會議も其の結果は何等妥協の進捗を見ざれば三月六日大總統令……

▲實施を見難 かるべし勿論前例に倣ひ蒙古西藏青海地方よ……せざれば他に便法なく南方……により違法選擧を叫び北方に應ずることなくんば國會問題總統問題……選擧を行はんとするものとし……時參議院の職會代行は反對せしを以て新國會を開會せんとする段派……然るに六省は除外せらるゝ結果となる然に約法によれば國會議員四分の三以上の出席なくんば大總統を……統は自ら大總統の……を申出で裏面の……としては例の長江筋の三督軍其他をして……名筋より段總理辭任說の傳へられども勿論根據ありと思惟せられつ……

……促さず奧地よりは相當の廻著を見たるも船舶の不足と內地との採算上買進む向少く僅かに精米所必需の資金は新規の需要のなかりき面……ものゝ如く大體に於て輸移出方面なりしも事實に於ては何等の影響無き……面の金融は稍活氣を呈すべき……

瑞西土産（二）

▼軍艦に後前を衞られて

獨艇の跳梁する危險區域を横斷＝痛手を受けた瑞西

新歸朝者 總督府醫院小兒科長 河野醫官談

一昨年三月振りで瑞西から歸朝した總督府醫院小兒科長河野醫官は大和町一丁目の官舍に訪問する記者を迎へて而も旅の間も『お父さん』と慕ひ寄る多くのお子さん方の笑顔に取り圍まれて面目新しく滯在中の印象を語る

私が瑞西に著いたのは昨年の恰度此頃である先づ道程を西伯利亞に取り歐露から瑞典に出て一旦英國に渡り其處から更に佛蘭西に上陸して漸く目差す瑞西に入つたのである瑞典と英國の間英國と佛蘭西の間（卽ち英佛海峽）は御承知の通り危險區域であるから汽船の發著などは

▲絕對秘密に なつて居り幾ら云ふ間際になつても瞭然したことは敎へて吳れないので吾々のやうな赤毛布は隨分人知れぬ苦心を嘗めた英國へ渡る時瑞典から乘つた秘密船は千噸級の小さなものではあつたが其代りイザと云ふ場合の用意であらう非常に快速力を有する汽船で拔錨後二十二時間で英國に著いた此秘密船には公用を帶びたものに限つて乘せ普通の乘客は斷つて居るが吾々の乘船には婦人子供迄乘つて居た、あとでこれ等は外交官の家族か何かであらうと思ひ當つたが其時は

▲何時擊ち沈 められるか判らぬのに隨分大膽な婦人子供ではあると呆れた位―航海中は往復共聯合國の軍艦が前後を護衞して吳れたが幸ひにして獨艇にも出會さず無事に歸朝することが出來たのは何よりである往途は光州慈惠院の古堂醫官と全州慈惠院の氏家醫官と一緒であつたが氏家醫官は瑞典到著後バーゼル府に向ひ古堂醫官と私は首府ベルンの大學に入つて研究したベルンは

▲人口十萬足 らずの小さな都會であるが氣候は却々好い樣に思ふ京城にくらべると寒暑共に稍嚴しいが家屋の構造が好いから却つて京城よりも凌ぎ好い位だと在留邦人は言つて居る今度の戰爭で各交戰國が多大の打擊を蒙つて居ることは云ふ迄もないが中立國としては瑞西程打擊の甚だしい國は他にあるまい就中物資の缺乏は打擊中の打擊とも云ふべく之が爲めに國民は到底想像も出來ないやうな苦痛を感じ政府當局も其需給調節に一方ならず頭を惱まして居るやうである

◇皇后陛下 一萬圓御下賜

皇后陛下には東京養育院移轉の趣聞召され一萬圓下賜の御沙汰ありたり（東京特電）

◇王世子殿下御慶事

＝は王家軌範御制定後に定る 今秋か來春かお答は出來ない

李王世子垠殿下には今秋梨本宮方子女王殿下と御結婚遊ばさるゝ事に內定せるやに傳へられしも方子女王殿下は目下學習院女學部第五年級に御在學中なれば御卒業は來春三月下旬なるを以て多分來春の四五月頃若くは來年秋頃を以て御擧行の事となるならんとの說あり右に就き李王職某氏は語つて曰く

御慶事は果して何時になるか當職にはまだ何等の御沙汰さへなく準備にも著手して居ない從つて今彼是と論議すべき時機ではないが吾々の觀る所では要するに御慶事の御日取は我皇室と李王家とを結び付る王家軌範の御制定如何に依つて決まる事と思ふ詣り軌範の御制定次第で今年の秋になるか來春になるか夫とも同年の秋になるか確乎とした事が決まるのではあるまいか今日は是れ以上お答へする資格がない

◉妻の爲に支那を見たる旅

光明師奉天通過

大谷光明師及び裏方紅子の方は十五日朝大連より來奉直に安奉線にて朝鮮へ向け出發せり驛には送迎盛んなりしが師は語りて曰く『今回の旅は妻の爲め支那を見たるものにて上海等に於て割合に永き逗留となれり大連にては兄（光瑞師）とも會ひ兄の病氣の全快をも見た

◉司法機關創設十年會

開催準備進捗す

既報の如く官民法曹有志の發起による朝鮮司法機關創設十年記念會は愈來る十八日開催せらるゝ筈なるが目下渡邊高等法院長を會長に推し

▲司法部山口法務課長、深澤監獄課長▲高等法院岩本部長、草場檢事▲京城覆審法院寺田檢事補部長▲京城地方法院田中部長、境檢事、京城監獄三井典獄▲西大門監獄補原檢事▲辯護士會長大久保雅彥、副會長關

の諸氏を委員に擧げ逐日準備を急ぎつゝあり加盟會員は司法部裁判所監獄職員、公證人、京城地方法院所屬辯護士、訴訟代理業者等を併せて約二百二十名に上る可く當日の來賓は長谷川總督山縣政務總監以下本府各課長、各所屬官署の長、銀行會社代表者及び其他の民間有力者、新聞雜誌通信記者の主なる者等にして當日は晴雨に拘はらず朝鮮ホテルに於て左記の次第によりて盛大に擧行す可しと

受付開始午後一時三十分▲食堂開始（合圖奏樂）▲受付閉鎖午後二時三十分▲會長挨拶▲來賓祝辭▲撮影開始▲饗宴開始（合圖奏樂）▲散會

一初夏 ◇この森が作りし夏のながれ（英三）◇

◉感慨無量な日米親善

＝四十六年前ペルリ提督來朝の追憶 ◇米國人は鯨に曳かれて日本詣り

日本メソヂスト敎會名譽監督 ハリス博士談

日米兩國人の交情に就て其の過去と現在を想ひ更に其の將來に想到すれば實に無量の感慨に堪へません。抑も今より四十六年前ペルリ提督が日本の浦賀へ軍艦を率ゐて來たことに就て當時

◇米國民の 意思は至極單純なものでありました。卽ち千八百五十年から五十三年に至る頃米國に於ては捕鯨事業の振興を企圖したるため是等の捕鯨船に乘つて太平洋上に働いてゐた水夫は實に一萬五千人の多きに達したのであります。而して漸次鯨群の澤山ゐる所を探し求めて遂に

▲アラスカ方面より 日本の沿海に至り更に千島群島に及んだので、夫れ等の事からペルリ提督が二隻の艦隊を率ゐて浦賀へ入港し米國の捕鯨船に炭水の供給を求めたのであります。尤も當時に於ける日本は鎖國主義の爲に色々の問題を惹起したが翌年正式にペルリ提督が

◇大統領の 親書を齎らして通商條約を締結したのでありますが初めの起りは鯨の事から通商を試みる樣になつて遂に今日の如き親交が結ばれたのであります。思へば佛國の史家が『鯨は怜悧な動物である、鯨によつて新文明國を發見した例證は尠くない』と云つた事に當箝つて誠に面白い事であります。私はズット以前に信州の善光寺へ御詣りをして

▲牛に曳かれて 善光寺詣り』といふ日本の諺を思ひ浮べて『米國人は鯨に曳かれて日本詣り』をしたのだと思つたので、私は善光寺の如來に厚き祈りを捧げて感謝したことがあります。而して千八百五十七年（安政四年）日米條約の改正を見、男爵森村市左衞門氏の手によつて日米貿易が開始され遂に今日の如き盛況を見るに至つたのは誠に同慶の次第であります。

◉禿頭病

＝東京に流行 どうしてなる？

◇女の方は特に注意を この頃また東京では禿頭病が市內に流行り出して來たさうです。殊に芳町及びその附近には婦人の禿頭病者が多くなつたとのことで、其筋ではこの際理髮店、女髮結、湯屋などを一層嚴重に取締つてゐるさうですが、遠い

▼▲朝鮮 とて油斷はなりません、それについて某醫師の話によりますと『禿頭病は一種の黴菌からうつるので、婦人などは櫛から傳染することが多いやうです男の禿頭病も困りますが容姿を重んずる

▼▲婦人 に取つては、これほどいやな病氣はありますまい。然しこれは治る病氣でいちばんよく効く藥は、カンフルチンキ一合と莞菁一合とを瓶に入れてよく交ぜ、その液體を筆の先につけて、禿げたところを、こするやうにしてつけるのです。それを毎日繰返して居りますとだん〳〵に元の通り

▼▲毛髮 が生ねて來ます。勿論一日や二日の急激には行きませんが、一週間位つけてゐるうちにだん〳〵効めが見ゑて來ます。豫防としては人の櫛を借りないこと、又人にも貸さないこと、もし貸した場合は、あとをよく消毒しておくこと、それから手拭なども他人のものを用ひないこと等で、一般公衆の

▼▲義務 として理髮所、女髮結、湯屋等が櫛類を消毒する事は申すまでもありません』といふことでしたとの際特に注意をして頂きたいと思ひます。

◉我派遣驅逐隊活動

某方面にて敵潛水艇を攻擊

十五日海軍省發表に依れば我驅逐隊の一部は五月三日與國運送船を護送中午後九時半地中海中部某地點にて敵襲を受け運送船の一隻は其雷擊の爲め損害を受けしを以て其乘員を收容し附近の敵を搜索したり、又た四日夕刻某方面にて再び敵潛水艇を發見し之を攻擊し復他の驅逐艦は五日朝別方面にて敵艇を發見之を攻擊せりと（東京特電）

東京大相撲

四日目（東京支局特電）

勝	決まり手	負
國ケ岩	踏越し	荒石
駒木川	浴せ倒し	石ノ川
鶴ケ濱	持出し	羽州山
友渡り	突落し	浪泉
小牛田山	渡し込み	今出川
時津風	寄倒し	若島
白岩	切返し	紀ノ川
大嚼	吊出し	太刀光
鶴渡り	極め倒し	龍ケ翠
錦洋	押切り	大ノ高
逢ノ矢	叩き込み	鬼鹿毛
大戶平	寄切り	綾川
釋迦嶽	押倒し	土州山
八甲山	寄倒し	敷島
黑瀨川	持出し	宇都ノ宮
翠ケ浦	寄切り	駒泉
彌高山	叩き込み	逆鉾
源氏山	素首落し	矢筈山
千葉崎	打棄り	常の花
栃木山	突放し	錦島
▲中入後		
藤ノ川	吊出し	御西山
清瀨川	踏切り	大ノ里
福柳	寄倒し	浦ノ濱
三杉磯	寄倒し	宮城山
大鳴門	下手投げ	一湊
明	切返し	岩木山
大潮	寄倒し	大門岩
朝汐	預かり	對馬洋

右の內▲錦洋に大ノ高は双方の呼吸合せずして立合ひにいたく喉取りしが聽て立ち上るや高敵の突き出す右手を手繰り上手を取つて何か一業せんとするを錦洋取られし右手を預け一押しに押し切つての勝は强し▲大戶平に綾川は左四ツにてチヨッと突き合ふ內大戶下手投げを打ち綾のタヂロク所を隙かさず寄り切る▲鬼鹿毛に逆ノ矢は突き合ひ鬼突き進むを叩き込んで逆ノ勝▲釋迦ケ嶽に土州山は土州飛込んで二本差となるを釋迦迎へて小手投げを打てば土州も下手投げを打ち返したるも利かず土州後ろ向きとなるを釋迦透り氣味に押し倒す際行司鷄治郎卷添へを喰ひて共に押し倒され三名一度に土俵に轉がりしには滿場

大笑ひせり▲敷島に八甲山は右四ツにて八寄り倒して八甲の勝▲翠ケ浦に駒泉は駒が突張らんとする機先を制して翠素早く右を差すや頻り立てゝ寄り切る▲黑瀨川に宇都宮は黑瀨素早く二本差しとなり宇都が小手投げを打たんとするを黑瀨極へて吊り身に寄り進み宇都が土俵際に外掛けに防ぐを拔き上げ持ち出して黑瀨の勝▲矢筈山に源氏山は矢筈突張りて押さんとするを源氏搔いで受け流しつゝ右手を上手にて矢筈の首を搔いたる素首落しに極まつて源氏無二の勝▲彌高山に逆鉾は逆が進み込み突張るを彌高何處までも突き進むを逃げ身に叩き込んで彌高の勝

▲千葉崎に常ノ花 はバッタリ左四ツ互ひに右上手を引いて呼吸を圖る內常强引に吊り上げて振り廻しそのまゝ吊り進むを土俵際に打棄りて千葉の勝▲錦島に栃木山は左四ツ栃木右を筈に當てゝ强引に押し進み錦の廻り込まんとするを突き放して栃木の勝

▲中入後

▲明に岩木山 は左四ツ岩木上手投げを打つを外掛けに切り返して明の勝▲藤ノ川に御西山 左四ツ直ぐ吊り出して藤の勝▲清瀨川に大ノ里は突き合ひ右四ツにて寄り合ふ內大の里踏切る▲浦ノ濱に福柳は……手を引いて强引に吊らんとするを浦左上……寄り倒して福の勝▲三杉磯に宮城山は宮城右差となりて寄るを三杉殘して敵の差手を突き除け又突き合ひて右四ツ三杉强引の上手投げを打ちて宮城の寮すを寄り倒して勝▲大鳴門に一ノ湊は右四ツにてチヨッと寄り合ふ內下手投げを打つて鳴門の勝▲大潮に大門岩は大戶二本差し下手投げを打つを返し寄倒して大潮の勝

▲朝潮に對馬洋 は朝二本差して吊りに行くを對馬怺へて外掛けに體に流れ込まんとするを朝打棄つて同體に流れ軍配は朝に揚がりしも物言つき結局土俵は勝負共預かりにて朝丸星對馬半星と決し午後六時半打ち出したり

▲五日目取組

東	西
岩木山	鬼鹿毛
宇都宮	浦ノ濱
對馬洋	清瀨川
中入	
大ノ高	敷島
釋迦嶽	彌高山
駒泉	千葉崎
錦洋	明
八甲山	土州山
福柳	大潮
入	
逆鉾	石山
常ノ花	三杉磯
御西山	矢筈山
綾川	錦島
宮城山	朝潮
後	
大ノ里	紅葉川
源氏山	大戶平
大門岩	翠ケ浦
一湊	藤ノ川
栃木山	大鳴門
逆ノ矢	黑瀨川

夏場所幕內星取表（○勝●負や休×分▲預）

東方 [illegible]

西方 [illegible]

縞セル 一反只の二圓卅錢

東京市日本橋區本石町一丁目吳服問屋閑谷商店にて今回三千有余反の新柄縞セル地を引取たるが品質優等の新進なる上等品なるも都合上只の如き捨直段一反タツタ乙號二圓三十錢甲號三圓三十錢別製品五圓三十錢と云ふ法外の安値にて賣始めたが一見十圓以上の本セルと何等擇ぶなき新柄セル地なれば忽ち賣切れる如き好評にて日々多數に賣れ行きつゝあり且つ同店は地方部設置七週年に相當する紀念として自然十八金色指輪を一反の注文毎に一個宛無代進呈をなすと云ふ因に希望者は至急ハガキにて申込め內男女別年齡を記しハガキにて申込めば色柄親切に見計らひ送料も當店で送るとの事

外科花柳病 內科小兒科 婦人科 宮崎醫院 京城南山町二丁目電話三〇六八番

總監部御認可、衞生無害
蠅取散 金七錢 郵券拾錢一個送る
室內の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死するは請合なり其他戶外に出すアラユル害虫に有効
全鮮一手引請捌元 京城南米倉町交番前 島田藥房
▲各地藥店雜貨店に販賣す▲特約店及び商店希望の方照會乞

京日案內
普通一回前金五十錢 番外一回前金……（名一回毎に拾錢增し）

◉善隣商業卒業者 年齡廿才前後 日鮮人貳名入用 電話二八一〇番 南大門通り五丁目 齋藤商店 93

◉集金係外交員採用 希望者履歷書携帶午前中本人來談 保證人要貳名 長谷川町七六 京城殖產會 50

△金融 月收の方に極秘信用貸 御報伺上候又は御來談 京城本町五電車終點 大和屋質店 69

◉貸宅地 老人亭下五二坪三二坪十八坪地均濟 風光明媚雅客に最適す 大和町老人亭下 苔深 97

◉鑛山事務員採用（番外） 高等小學校卒業程度の者希望者は履歷書携帶來談あれ 京城本町五丁目五二 三浦 90

◉古家賣却六棟 御希望の方は五月十六日迄に左記へ申越されたし 龍山漢江通 間組 91

男女外交員採用 數名 本人直接來談あれ 黃金町二ノ一四八（金融湯向側） 明星商會 95

店員入用 十五六歲より二十歲まで 京城本町二 松菊屋小間物店 94

恩給年金 長期低利卽金立替 引 一切 債券 物 買 擔保貸附 しん公債 京城若草町一百六一番 電話三〇一 西村商會 69

◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 24

店員 十四五歲以上二十歲位迄 四五名入用但し要保證人 希望者は履歷書携帶至急來談あれ 大和町春日町角 土永吳服店 81

中古玉突臺賣却 アメリカテーブル式 完全なり 詳細は左記へ御照會を乞ふ 平北雲山金鑛會社內 熊島 88

品質純良 衞生無害
攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意
醫學士 齋勇 醫士 齋豐次
京城本町五丁目稲荷座前 電話二〇一二番
大和病院

效能で賣れる
第一 逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す
大日本大阪高津

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町電話四二〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

易斷 高島易斷本部主事高島呑明先生出張 受付午前八時より午後二時迄 場所京城本町一丁目消光館內（電話一三五〇） 神易協會
高島易斷本部

當十六日より十九日（日曜）晝興行迄日延なし
▼學生、軍人諸君は必ず御覽あれ
長谷川總督閣下の御高覽を忝ふしたる
◎敎育實寫特別公開
本映畫は英國政府より送られたるものにして最も親善なる聯盟國民に知悉せられん爲め日本に於けるユニヴアーサル會社をして廣く公開映寫すべき事を委托せるもの也 英國大使館
◎歐洲大戰亂 怪物鬼自動車 肉迫戰 全七卷
大戰の生める最新武器の大活躍を看よ山を越へ谷を涉りて威風堂々と猛進する大怪物タンク
◎滯米中の石井特使 全三
本映畫は日米親善の爲め米國政府が撮影せしめたるものにして當大使館は親善の目的を達する爲め日本に於けるユニヴアーサル會社に交涉し廣く公開映寫せん事を委託するものなり 米國大使館
米大陸未曾有と稱せらるゝ熱狂的大歡迎の壯觀に山に觀善の歡待に飽ける一行のニコ〳〵振りを見よ！
▼其他おもしろい滑稽物數種あり
京城本町一丁目 電話二〇五番五九七番 有樂館

花吹雪

大阪　中谷青霞

（三十一）

『月岡頼母、お招きに預つて推參申した誰かある取次下されい。』

何事か思決した頼母は、使者のもの還すと共に、衣服を改め供のものも若黨一人、ひそやかに出で立つて駕にも乘らず建部が邸へ來たのである。

『何れも樣お待兼でムりまする、さ此方へ……。』

と玄關の衆に案内せられ、書院に通ると其處には誰もゐず、縁側の沓脱石に庭草履一二足、いざ召してとあるに導かれて別構への待合席に入れば、床には狩野永徳が畫

士越しの龍の圖を掛け、青磁の香爐に馥郁たる香のかほり、ゐならぶ鼻を擽めて居並ぶ人々はかねて讖十郎が昵懇の旗本衆、高麗縁の畳に膝も崩さず、互の會釋も事々しく、やがて一同茶の間に導かれる、程なく主人建部讖十郎入り來り、時候の挨拶別儀もなう、時も移さず會席の饗應あつて、折からの春雨に露次笠しての數寄屋入り、茶器の類は道がに好事を盡して遠州好みの庭の木立物靜かにいと寂びたる體、茶の事果つれば各々やゝ暫し縁側に時を移し、一同思ひ〳〵に立踊る、月岡頼母はやゝ離れて立たうとするを、讖十郎押し止め。

『頼母殿、お待ちやれ、今一服、身が手前申さう、まゝ其儘〳〵。』

と云ひ乍ら菓子に直る、さてこそ思ふ色を押包んで月岡頼母。

『いや图らずのお招きに殊の外なるお歡待、頼母近頃の欝散致し申した、何一服お手前下されやうとは此上もないこと、さらば遠慮申さず頂戴致すでムらう。』

『突然の思ひ寄り、殊に夜陰に及んでの事お招きの甲斐もなう、主じ振りの面目もムらぬ次第なれど、彼是同席の客もあつては親うお物語りも申されぬが、幸いお身一人後に殘られたからは打くつろいでの一服、數寄は淋びたるを旨とするにあるとやら、是からが誠の茶事でもおはさうか、さお引き下されい。』

と讖十郎は菓子にかゝり乍ら、取り菓子の鉢をつと薦める、松風の音、茶釜の音さら〳〵と雨にまがうて、主客相對した氣味合、さて雨か風か、戸外は何の音もない。

『頼母殿、見苦しうはムれど、さ召上つて下されい。』

と讖十郎は萩茶碗に袱紗してつと差出し菓子を離れてむずと坐る。

『今更ら乍ら當家のお物數寄、與床しうも見受け申して、頼母お羨しう存ずる次第。』

と云ひ乍ら茶を呑干して、熟つと讖十郎が面を窺ふ、讖十郎はさりげなく。

『いや何れも見苦しい狀、お目にかけらるる程の器もござらいで赤面申すぢや、それに就けても今日の茶事に、お身邸の鬼河原清兵衞とやら申す名物男、同席とあるは如何なれど、別室にても引見申したうて書状にも書添へた筈、何故お伴ひ下されいでムつたか。』

『如何にも其儀確かに承はつたが、未だ御挨拶も致さずいやとんと失禮申した、なれど清兵衞儀は去り難き儀のおはして折角のお思召し寄りも已むなく參り兼ね、いや何彼と重々の失禮、お赦し下されい。』

『それ…早本意もないこと。』

と讖十郎は落膽のさまで、稍々少時打案ずるかの氣色、やがて膝となつて。

『頼母殿、實は少々お身に折入つて頼み聞ねたい仔細がムるが、何と聞いては下さるまいか。』

と威儀を正して身を進めた、眼の色は險しい。

日報歌壇

○はつ夏の歌　補田　なみ

瞳して水くみすればさびしや東京なおもふはつ夏なりぬ

ゆるゆると雲ながれゆく夕べなるはつなつにして君を思ふ

○つばくろ　月島芙美子

なさめ子の胸の巾くさよつばくろの胸毛のこさもふるへりおはれ

○春の灯　緒　環

灯に照ゆるピアノに映る面影のさくらのふさふ君かな

思ひ出は小草にそそぐ春の雨でこはかさなくたもち流れゆく

○ライラック　路　代

ライラックの香りけし人想ふさ淺く疲れてベンチに依れば

○君に生きゆく　爽　子

越しの力の淨くましろさはこらびさ永劫へのぞみ君にささげむ

路さらに求めしにあらずれざもせずおそろしきかなこのよろこび

▲初夏の歌を募る

日報俳壇

船御す汐の飛沫や海麗ら　昧川

山樹に並ぶ土藏や桃の花　同

病兒みとる夜卒通ひ歸雁哉　同

默々と物縫へる妻や歸る雁　同

縁に立ち我待つ母や歸る雁　同

雨やめど窓に兒が唄ふ燕哉　徐

屋根葺きし屑藁燕歸る雁　同

隣園へ雨雲去りて夕雲雀　同

行く春や馬賊怖れて埋む錢　同

懸唄に暮るゝ機場や桃の花　萤

街の空へ漂ふ水や月朧　同

芥菜や畑に乾ける腐れ繩　同

賑れ居る籠の雲雀や春淺き　水

春寒き泛子が動くや水の面　同

市場に取挑ふ小屋や春の雪　馬

春雪に笈負ひ歸へる故郷哉　愛

我が里の山桜尖り春の雪　飛

木の芽垣に鶏冠鋭く動き見ゆ　樫

野遊の糧き疲れに動く海　翔

蜂一つ巣を營める梢かな　高

◉英語を學ばんとする人の福音　成程これならば大丈夫英語は獨習が出來ると思はるゝ様懇切の極を盡した最新英語講義録を發行しつゝある大日本國民英語學會は今回第廿回の新學期を開始して會員を募集しつゝあり右講習録の見本及入會案内書は申込次第進呈する由因に大日本國民英語學會は東京麹町區九段坂上

新刊紹介（到着順）

▲詩林（四）　結城蓄堂氏編の詩集にして三民中洲、股野琢、森鷗外、澁澤南溟、土居香國、市河得庵、永阪石埭、土居香國、廿湖千、上尾雨山、市村瓚次郎、山本梅崖、高野竹隠、塚原夢舟、土肥鶚軒、高橋作衛、黒田長成侯、杉田定一、上岡育造、東月小太郎、古谷久綱、竹内正志、大瓦丈夫、朝比奈知泉、國府犀東、渡邊千冬、長井金風諸氏及び中興詩人、支那詩人の近作を掲げ外に詩楡、園園、詩話、選問、詩記、文藝明錯（徐信卷）江湖消息等（三十錢、東京神田紅梅町二詩林社）

▲露西評論（西伯利號）　西伯利征服（日露西伯利全國附圖）寫眞版三十四個、西伯利の歴史地理現狀産業時事人物其他在つゆる西伯利の事情を詳記せる外長唄シベリアの歌（作外）小説露領樹の蔭、宴歌露西亜西間雑誌記事案内等を掲ぐ（五十錢、東京赤坂丹後五番文社）

▲スネーク（四ノ三）　小出楢重（創作）相歌（八十首）小池ちゃ、櫻（碌介）日記、前二、詠草七十首等　北錢、東京麹町上六ノ四三潮行

▲現代の科學（六ノ五）　古代の數學（カヂヨリ）物理化學最近の進歩　堀場理學士）マイケールファラデーの事蹟（長岡博士）外に天文地學、生物、理化の最近研究等（二十八錢、東京下谷谷中二二五共社）

人參ミルクキャラメル

▲俳句の研究（五）　執筆者は黒田忠次郎、寒澤老木、松村巽一郎、山下政一郎、女枝寒竿、中塚碧樓、廣矢眞茂、東條地屋孫、喜多村緑郎等（一八錢、東京赤阪中の町一〇共社）

▲日の丸（六）　附録に水族館の切組繪あり高尚として立派な中の殊に細微の武者繪は大人にも他洋畫名家の挿畫に成る因々の繪畫は大人にも面白からん（十三錢、東京滝谷東亞ビス文啓社）

▲日本幼年（六月號）　オフセット版極彩色の可愛らしい綺麗な繪が三十面近くあつて取分け東海道の繪さ口繪い趣味近いと思つた（十三錢、東京堀留町一東京社）

▲通俗學術講演集（一ノ五）　遺傳の生理學的根據、永井博士、遺傳の異化性（山内博士）地球の進化（佐藤教授、環境物（高教授、佛教の生死觀（前田博士）生存の生死、海老名彈正）教育の効果（乙竹教授）外鄰堤九項（二十五錢、東京神田表保樂町管文堂）

▲女の世界（五月號）　文章上の女性、英軍に從ふ看子軍、遊ぶ心さ奔す女、女優軍の旅ばなし、三百萬圓の子を產んだ話等、其他小說、大正婦人雜誌（二十三錢、東京麹町區有樂町一の四實業之世界社）

▲宗報（一九九）　五錢、京都市烏丸通七條上る大谷派本願寺々務所

京城明治町二丁目
入院隨意　胃腸病院
院主　佐々木杢造
電話一六五九番

漁り領分

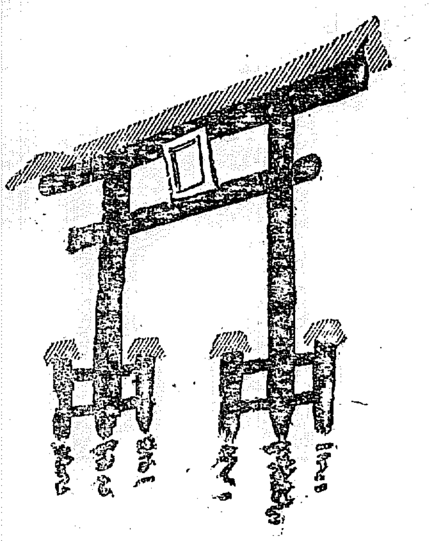
▲文藝係記者足下、蔘築文藝欄日中ハメエ、モノハッケ、ナヅの中何れか二つを廢して短歌と俳句を始められては如何、敢て一考を煩はす（交河、香氣坊）▲あなたの御希望通りにも行かぬが何んとか考へておいて見ることにする（係り）▲賢明なる警務總監部及び警務部に御願致し度く●市に府民の覺醒な促し度き件（一）（イ）料理店の類を一所に集め善良なる市民の所住地に散在する彼等は一切縁絶さ曲な禁する事、此件内地は多く見る處是非御着手願度し（ロ）本町通りに於て特に夜間、自轉車及び人力車の通行を禁ずる事、人顧心術總通の如くする事、以上二件大京城を建設せんとする急務の一端と存候（京面目）▲本町一丁目の娘さん近頃は大へんな評判ですれ、龍山の藤口さんと夜中の三時頃車で送がくれなんか曲藝をするからですよ、十八の妹さん迄十二時頃南山公園行きはあきれました（二府新町に引移つたら如何（郵便局前のアーク燈）▲『銀ぎ時』こ吉本君よ』小生の辞投ひが不親切ださ棚で御注意を受けたが小生も爾後は年三十歳月給は五圓一ヶ年中無休日、兒守より掃除一切して三度〳〵御茶ヅケばかりではとても永續に迄親切には出來ぬよ許してくれ（ヲツボヤの店員）▲補充兵君に告ぐ四十年度適齡者は本年兩期點呼を受けなくて宜しいです疑しき事は府庁兵事係へ御問合せになれば判ります（係り）

寫眞

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀懇切を旨とし御需に可應候
京城日報社寫眞製版部

わかさ

にて今迄彼是と他の薬を用ひ効なき方は
特効薬ファーザーを御用ひあれ
價六十錢一圓
京城黃金町三丁目
山田文殊堂藥房
電話二九四九番

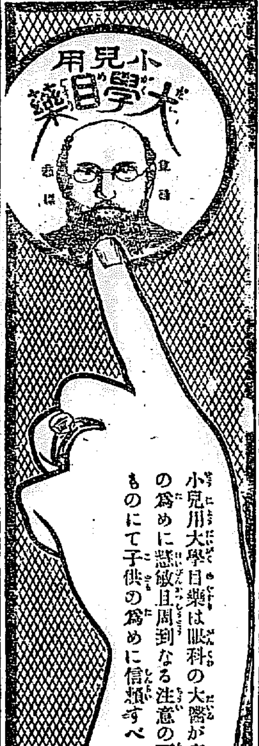


極力
品質を向上せしめて
今や嗜好界の覇權を握る
森永ミルクキャラメル

森永製菓株式會社

いつくしまの
何時迄も匂ふ
金鶴香水
年中つけても
あきがこぬ

發賣元　大阪　花王石鹸　水日本石鹸　入駒西部代理店　大崎組商會
製造元　東京　花王石鹸　石鹸東部代理店　長瀬商會



小兒用大學目藥は眼科の大醫が專ら十歳以下の小兒の爲めに懇篤且周到なる注意の下に創製せられたるものにて子供の爲めに信頼すべき目薬であります
各藥店にあり
大阪　合資會社　天眞堂藥房

八十日先後場
△京城府付（三千五百四十九錢）
大阪前止め二十四圓八十二錢後寄七十九錢八錢九錢八錢七錢六錢
六十六錢の入籠も當限三十一圓八十八錢七十八錢八錢七錢
十錢先八十錢と二錢安付一錢八錢七十八錢九錢八
四馬安値　二十一圓八十　七十九
寄付二十一圓八十八錢

合同收の間に在りて追々西に飛躍整理の趨勢起ると共に來る事業の合同業務を完了して久原の下に東京株式會社の如く本邦に做ひ合同買收行はれ最近天津商工銀行二十一萬圓と北京の大阪鐵工所の七十四萬圓と合併せり日本の銀行は同地銀行を合併して資本五百萬圓に增加し、外は久原の所有に係る目下進行中にて

間屋筋は昨年今月の頃に比し先月より七十錢より一圓高の相場を表はし尺十碼物打七十四圓四十錢

百円進呈

りん病　ばいい毒（藥合調）
特製參、特製貳、並製壹
▲藥料十二圓代金引換送料十一錢
▲右藥は治劑として陰症に特效確定し

帝國醫科大學病院

主任等の治療なる效果の偉なるは▲あらゆる治療を試み効なき者も▲總て治療は京都市▲新町に大阪有田に
ぜ物に注意を
分析料百圓進呈
鑑製の文字無き物は凡て僞物なり御注意あれ
製造本舖　大阪合資會社ドラッグ商會本部

發賣元　東京日本橋通四丁目ドラッグ商會
京城南大門外停車場通
長牀阪二五六七●振替京城四六

支店　京城黃金町三丁目電車通●元山本町龍山兵營前停留場●平壤欄町一釜山大廳町二丁目●仁川宮町二丁目

日本郵船仁川出帆

大連行、天津行
相模丸　五月二十日　正午
三河丸　六月九日
高砂丸　五月三十日
仁川海岸町十二番　堀回漕店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
神代丸　五月十六日後四時
秀吉丸　五月二十一日後四時
君代丸　五月廿三日後四時
大有丸　五月廿一日後四時
仁川海岸通三丁目　高杉回漕店

共同汽船仁川出帆

青島直行
共同丸　五月十六日午後
朝鮮總督府命令航路
朝鮮航路主要港に寄港と定期航海にて貨物諸客の取扱に便ならしめ
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）野口商店
仁川代理店　京日町（電話二四四七番）
元山代理店　田口回漕店
京城南大門（電話二七〇八二）河村運送店

大阪商船株式會社汽船出帆廣告

仁川出帆
◎神戸、大阪行
△油頭丸　五月十三日　後五時
△日清丸　五月廿一日　後五時
△日南丸　五月廿一日　〃五時
△◎群山、神戸、大阪行
南都丸　五月　日　後五時
元山出帆
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸　五月廿三日　後九時
◎西湖津、新浦、城津、清津行
安平丸　五月十七日　後十一時
大連出帆
◎上海、基隆、打狗行
湖北丸　五月　日　前六時
基隆丸　五月廿九日　後四時
內地各港出帆主要航路
歐州行　一年四回
南米行　一年四回
濠洲行　毎月一回
北米行　毎月二回
孟買行　毎月二回
南洋行　毎月一回

御注意
▲御乘船御申込は出帆前日迄に御申込ありたし
▲外航各航路の御乘船は中外商業・賣出・入港の時刻を御問合の上御乘船あれ
大阪商船株式會社仁川支店　電話七〇八
京城　切符發賣所
仁川　京城南大門通二丁目　日本通運（電話二〇五番）
仁川本町一丁目　度田組　電話二六
群山　仁川港町一丁目　細井回漕店　電話七三